

FOR ALL THE MOTORCYCLE, CAR & MUSIC LOVERS

エンシュージラスト特別号

2022 / Vol.6

The Enshu Siast Magazine

TAKE FREE!

ご自由にお持ちください

バイクのふるさと浜松 2022 徹底ガイド

© 浜松市



**浜松オートレース場が
バイクのテーマパークになった!**

この一冊で
イベント
丸わかり!

バイクのふるさと浜松[®] 2022

© 浜松市

徹底ガイド

見逃さない
イベント満載! **タイムスケジュール**

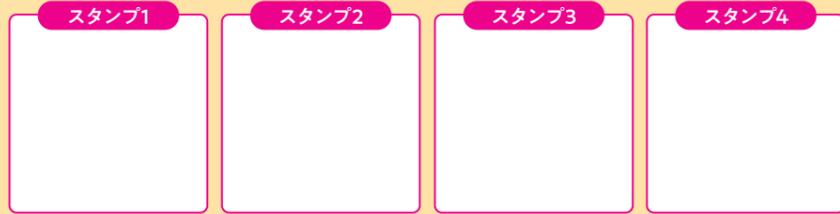
10/15 sat. 10:00~16:00

バイクのふるさと浜松2022 会場内スタンプラリー

4つのスタンプを集めて景品をGETしよう!

〈27 エンシェージアストブース〉
にて景品をお渡しいたします。

※景品の進呈はお一人様1回限り、無くなり次第終了といたします。



「スズキ・ホンダ・ヤマハ」国内3大メーカー発祥の地である遠州・浜松。バイクの楽しさを体感できる人気イベント「バイクのふるさと浜松2022」を徹底ガイド。オートレース場を会場に、走行路、展示ブース、ステージと内容盛りだくさんの2日間。さあ、みんなでバイクを丸ごと楽しもう!

何がもらえるかは
当日のお楽しみ!



10/16 sun. 10:00~16:00

- 10:10~11:10 人気バイク試乗会 走行路
- 10:30~16:00 オートレースキッズバイク体験
- 11:00~11:30 仮面ライダーギーツショー ステージ
- 11:40~12:10 トライアルデモンストレーション
- 12:00~12:30 地元出身選手によるトークショー ステージ
- 12:30~13:00 浜松オートエキシビジョンレース 走行路
- 13:00~14:00 人気バイク試乗会 走行路
- 13:10~13:40 3メーカーPRステージ ステージ
- 13:50~14:20 仮面ライダーギーツショー ステージ
- 14:00~14:30 トライアルデモンストレーション
- 14:30~15:30 人気バイク試乗会 走行路
- 14:40~15:20 バイク女子 トークショー ステージ

浜松 オートレース場が バイクのテーマパークになった!

見て、触れて、
乗って!

ステージ

10 バイク女子 トークショー

15sat 14:30~15:10 16sun 14:40~15:20



梅本まどか 平嶋夏海 Ruriko わっす



走行路

11 走行路を使った
人気バイク試乗会

各回先着
50名

受付時間:各回1時間前
受付場所:試乗会受付
※16日(日)1回目は10時より受付。
※ヘルメット、プロテクターはご用意いたします。
※長そで、長スボン、スニーカーをご用意ください。

15sat ①11:00~12:00
②14:00~15:00
16sun ①10:10~11:10
②13:00~14:00
③14:30~15:30



メインスタンド北側 屋外エリア

01 タッチ&トライ

スズキ、ホンダ、ヤマハの最新型のバイクなどを展示。
見て、触れて、またがってバイクの魅力を体感しよう!

15sat 16sun



ステージ

02 オープニングセレモニー

15sat 9:50~10:00



走行路

03 交通安全パレードラン

参加予定:浜松オート選手/バイク女子/
トライアル選手/鈴鹿8耐参戦選手 など

15sat 10:00~10:10

走行路

12 浜松オート選手による走行路イベント等

●ドリームレース(異種100mレース)
オートレーサー、トライアル選手、
鈴鹿8耐参戦選手などによる100m混合レース

15sat 15:10~15:40

●エキシビジョンレース
現役選手による模擬レース!勝つのは誰だ!

16sun 12:30~13:00



バイクの
ふるさと浜松

EVENT LINEUP!

13 オートレースキッズバイク体験

15sat 10:30~16:00 16sun 10:30~16:00

(受付時間は10:30~15:40 各日先着24名)
※補助輪無しで自転車に乗れる小学生に限ります。
※長そで、長スボン、スニーカーをご用意ください。

14 ラグビー
静岡ブルーレヴズ
子どもラグビー体験

実際にボールに触れ、パスやタックルを体験しよう!

15sat ①10:00~12:00 ②13:00~15:00

メインスタンド1階 特設スペース

15 MotoGP参戦マシン展示

世界で戦ったバイクをご覧ください 15sat 16sun

南駐車場

16 バイクメンテナンスコーナー 16sun

協力:自動車整備振興会 浜松中支社/静岡県オートバイ事業協同組合

17 トライアル
デモンストレーション

出演:小川選手、野崎選手

15sat ①10:30~11:00
②13:20~13:50

16sun ①11:40~12:10
②14:00~14:30



ステージ

ステージ

04 浜松中央警察による
交通安全講座/
県警音楽隊コンサート

15sat 10:10~10:50

ステージ

05 浜松市消防局による
災害時の対応/
消防音楽隊コンサート

15sat 11:00~11:30

ステージ

06 仮面ライダーギーツショー

15sat ①11:40~12:10 ②13:45~14:15
16sun ①11:00~11:30 ②13:50~14:20

観覧
無料

©2022 石森プロ・テレビ朝日・ADK EM・東映

走行路 ステージ

07 鈴鹿8耐 地元参戦チーム
デモ走行/トークショー

15sat 12:30~13:10



ステージ

08 3メーカーPRステージ
スズキ・ホンダ・ヤマハ

15sat 13:10~13:40 16sun 13:10~13:40

ステージ

09 地元出身
選手による
トークショー

出演:エンデューロ/
馬場大貴選手・馬場亮太選手

16sun 12:00~12:30



ものづくり企業・学校

世界に誇れるものづくりの街から話題の製品を展示!



20 OGUshow
車中泊できるトランスポーターの展示



21 株式会社ジー・ゾーン
NTS Moto2マシン、カーボンパーツ展示

22 株式会社スプラウト
バイクシート張替え展示

23 静岡大学 SUM
学生フォーミュラ参加小型マシンの展示

エンシュージラストも出展します!



27 エンシュージラスト
バックナンバー展示、遠州銘品紹介
会場内スタンプラリー景品引換

出版社

バイク・ツーリング情報が盛りだくさん!

24 webオートバイ
(モーターマガジン社)
雑誌展示、バイク女子参加、
ツーリングスタンプラリー景品引換

25 株式会社八重洲出版
雑誌展示、関連グッズ販売

26 ツーリングマップル
ツーリングマップル販売、
取材担当者サイン会(賀曾利隆さん)

各種団体

記念撮影、木工教室、eスポーツなど、魅力を体験しよう!

28 浜松中央警察署
交通安全協会浜松中央地区支部
白バイ展示

29 浜松市中消防署 浜松市消防団
赤バイ展示

30 (一社)日本二輪車普及安全協会
活動内容展示

31 静岡県オートバイ事業協同組合
活動内容展示

32 浜松オートレース
オートレースバイク展示、写真撮影可

33 (一社)日本自動車連盟静岡支部(JAF)
子ども免許作成、シートベルトコンビンサー

34 WIMA JAPAN
国際ライダー連盟 日本支部
団体PR、グッズ販売

35 浜松市災害
バイクボランティア
災害用バイク展示

36 ライダーズ・ライディング・
アカデミー
災害用バイク展示

37 自動車総連静岡地協
親子で木工バイク製作

38 (一社)静岡eスポーツ連合
バイクゲームを使用するの
eスポーツ体験

39 元気回復堂
ライディングに適したスポーツ
整体のお試し体験

40 WBR推進プロジェクト
バイカー歓迎施設の案内、
活動内容紹介

41 浜松市家康公ゆかりの地
PRコーナー
出世の街浜松が知りたいならココ!

飲食店

ご当地グルメなど、美味しい「食」を満喫しよう!

42 カーネギー55 本店
ハンバーガー等販売

43 ハムド(ROYALKEBAB)
ケbab等販売

44 アイス コルネット
アイス、から揚げ等販売

45 ケーズフードサービス
ポテトフライ、かき氷等販売



バイクのふるさとを
遊びつくそう!

見どころ満載! バイクの魅力が大集合!

特別展示

レース車両や名車・旧車など貴重なバイクを見られるチャンス!



1 鈴鹿8耐地元参戦
チーム車両展示
レースを戦い抜いたヘルメット、
スーツなど展示



2 ボンボンCLUB浜松
オーナー自慢の名車・旧車展示

バイク販売店

人気・話題のバイクに触れて、魅力を体感しよう!



3 BMW MOTORRAD ダッツ浜松店
BMW車両展示



4 タイラレーシング(株)
車両展示



5 カワサキプラザ浜松
車両展示、用品展示

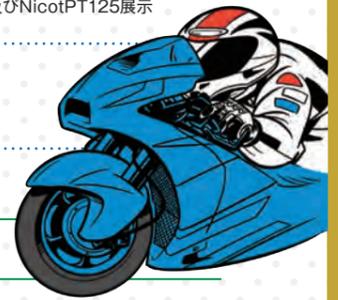
6 スズキワールド浜松
HAYABUSA展示

7 YSP浜松
ヤマハ車両展示

8 株式会社アライブプラス
APトライク及びNicotPT125展示

9 株式会社アカリエ
COSWHEEL MIRAI電動バイク、RICHBIT電動バイク

10 HSC インディアンモーターサイクル
インディアン車両展示



用品販売

お買得商品や新製品情報がいっぱい! お見逃しなく!



11 株式会社デイトナ
キャンプ用品、新商品、ガレージ展示



12 ダイナオガレージファクトリー
オーダーメイドバイクガレージ展示

13 株式会社ワイズギア
アパレル、グッズ等展示、販売

14 株式会社スズキビジネス
スズキ純正用品、グッズ、アパレルなど展示、販売

15 プリヂストーンモーターサイクルタイヤ(株)
プリヂストーン2輪タイヤ商品展示、説明

16 株式会社アルファパーツ
バイク用品、
部品のアウトレット販売

17 株式会社BILO
バイクロッカー展示、説明

18 Jap Good Speed
オリジナルレーシングスーツ、
グローブ展示、販売

19 T,T Factory
大型バイク用ターナーテーブル
バイクガレージ展示

8 Points for Safety touring

Goodルック&Goodマナー

バイクに乗る楽しさの原点。それは「カッコいい」ということだね。私がバイクに憧れたきっかけも、7つ上の兄とその友達が乗り始めたのを見て。子供心に「カッコいい」と思って、すぐに夢中になったから。

私が思うカッコいいライダー像は「マナーが良い」ライダー。部分的にではなく、あらゆる面での「マナーの良さ」。それがスマートでカッコ良さに繋がると思う。どんなにカッコいいバイクに乗っていても、ライダーのマナーが悪かったらイメージが悪いよね。常に誰かに見られていることを意識して走れば、自然と無茶はしなくなるし、何より安全で楽しんで走ることができるよね。

バイクに乗る上では「気持ち」や「意識」の部分も大切だね。安全のためには、確かな技術を持った認証工場で整備をすることも大事。さらに走行前の空気圧やブレーキ、ガソリン残量といった基本的な部分をチェックすることで、不安がなくなってライディングに集中できるよね。私もツーリングが好きで日本全国を走ってきたけど、心に余裕があるとツーリングがさらに楽しくなるね。最近ではGSの数が以前より減っているから事前に場所を調べたり、給油と同時に早め早めに休憩したりと余裕のあるプランで走れば、バイクの楽しいところだけを満喫できるよ。バイクは趣味=遊び道具だから、ライダーには安全で楽しく遊んで欲しいといつも思っていますよ。



走行前の点検は、ライダーの基本!



8箇条をマスターして、君もセーフティライダーになろう!



Safety touring Point 1

事前の情報収集がカギ。

ツーリング前にルートや休憩場所、給油場所、1日の走行距離などの確認をすることで、もしものアクシデントなどの予防・対策につながる。

Safety touring Point 2

走行前の10分を怠るな。

走行前に、バイクと自身の体調をチェックしよう。タイヤ空気圧、灯火類、ミラー、チェーン、エンジンオイル、ガソリン、ブレーキなど。身体の調子も確認を!



教えて平さん!

セーフティツーリング = 8箇条 =

バイクはライダーにとって、魅力あふれる楽しい乗り物です。レジェンドライダーの平忠彦さんに、ライダーが安全に楽しく走り続けられるよう、セーフティツーリングの極意をわかりやすく伝授してもらいました。あなたもセーフティツーリングの達人になろう!

楽しいツーリングは Goodマナーから!

平 忠彦

Tadahiko Taira

元全日本ロードレースチャンピオン 83~85年、全日本ロードレース 500ccクラスで3年連続チャンピオン。世界GPや鈴鹿8耐での走りも記憶に残るレジェンドライダー。現在はタイラレーシング代表として、日本各地へのツーリングを楽しむ。我々ツーリングライダーの頼れる兄貴的存在。



8 Points for Safety touring

Question & Answer



Q. バイクの運転が上手くなるコツはありますか？

A. ライディングが上手くなるには、愛車でできるだけ多く走り込むことだね。走れば走るほど、いろんな場面に遭遇することでライダーの経験値が上がっていく。経験値が上がると、バイクを正確に操作することが可能になるから、バイクを手足のように操ることができれば、バイクがもっと楽しくなるでしょう。ライダーが余裕を持って操作できる範囲のスピードで走ることも大切だと思いますよ。



Q. ツーリング初心者です。安全に楽しく走るにはどうすればいいですか？

A. 私がツーリングする時は、午前中に集中して走るようにしていますね。そうすれば距離も稼げるし、午後は早めに目的地について、美味しい料理を味わったり、温泉に入って疲れを取ったりして仲間と過ごせます。できるだけ余裕を持って計画することで、次の日も楽しく走ることができるようになりますよ。



Q. 女性で身長が低いのですが、オススメのバイクはありますか？

A. ビギナーの方には、レンタルバイクで実際に走ってみることをオススメします。購入前にレンタルすることで、足つきや車体の取り回しができるし、失敗の少ないバイク選びができると思います。私の店もレンタルバイクを用意していますから、ぜひ利用してみてください。



Q. スピードを出すのが不安です。ゆっくり走ってもバイクは楽しいですか？

A. バイクは『遊び道具』だと思ってます。遊び方を工夫することで、いろんな楽しみ方ができるでしょう。例えばバイクで走る時に重心移動でバランスを取ってみると、バイクの動き方をより理解できるようになります。さらに発展させればトライアルといったバイクもあります。自由な発想をすることで、色々楽しめるのがバイクという乗り物の懐の深さじゃないでしょうか。



取材協力：
タイラレーシング株式会社
浜松市中区高丘西1-12-7
TEL.053-437-2125



Safety touring Point 3

全ての基本は安全装備から。

適切な装備あつての
快適ツーリング!

ヘルメット

最低でもSG規格のヘルメットをかぶろう。視界を確保するためにはサイズ選びも重要。あご紐を締めるのを忘れずに。バイクから離れる時はヘルメットホルダーが基本だけど、小休止の時は大事なヘルメットを落とさないよう、Fタイヤの後ろに置くのがオススメ。



ジャケット・ライディングパンツ

どんな季節でも長袖・長ズボン必須。プロテクター内蔵のウェアなら安心感も高いし、ライディング時にも動きやすいね。

グローブ

アクセル・ブレーキを操作しやすいものを選ぼう。バイクに素手で乗るのはNGだ。

ブーツ

足首まで保護して、ペダル操作がしやすいものを。足元が決まっているライダーはカッコいいね。

Safety touring Point 4

正しい運転姿勢を身につけるべし。

正しい運転姿勢は長時間走っても疲れにくい。私はバランスボールを腕で抱えるようにイメージするね。外側から腕をハンドルに添えると操作が楽に行えるよ。

いい姿勢は
いいライダーの証だね!



Safety touring Point 5

上級者は危険を予知して走る。

どんなに注意深く走っても、周囲には常に危険が潜んでいます。危険を予知して走ることが、安全なライディングの極意です。

Safety touring Point 6

バイクを操る
楽しさを感じ取れ。

身体のセンサーを研ぎ澄ませて、バイクと一体になって意のままに操ることが究極のライディングの楽しみだね。リターンライダーには過去の感覚を過信しないで、現在の身体能力に合わせて走ることを大事にして欲しいな。



自分に合った走りを探すのも一つの醍醐味

Safety touring Point 7

楽に走るテクニックを身につけろ。

ツーリングでは、できるだけ楽しんで走ることを意識するね。シフトアップを早めにするれば、低回転で疲れにくいし、燃費も稼げるからオススメだよ。

Safety touring Point 8

心の余裕がツーリングを楽しくする。

ツーリングではスピードやスリルを追い求めるより、景色や美味しい食べ物を満喫するのが醍醐味だと思うよ。常に笑顔でツーリングを楽しみたいね。

浜松を バイクの ふるさとに した道



▲昭和30年代後半の六間道路の空撮。長い直線、終盤のカーブが確認できる。

戦後、繊維産業が勢いを取り戻す中で、織機製造で培った精密な機械づくりと鋳造の技術を活かし、バイクの製造に乗り出す工場が続々と現れた。多い時は規模の大小はあるものの、市内に30社を超えるメーカーが存在したという。

中でも、浜松市街を東西に走る六間道路沿いやその周辺には、自転車用補助エンジンの開発・製造で先陣を切った本田技研を始め、ライラックの丸正自動車製造、クインロケットのロケット商会、ライナー号の北川自動車工業など大小多くのメーカーが工場を構えていた。

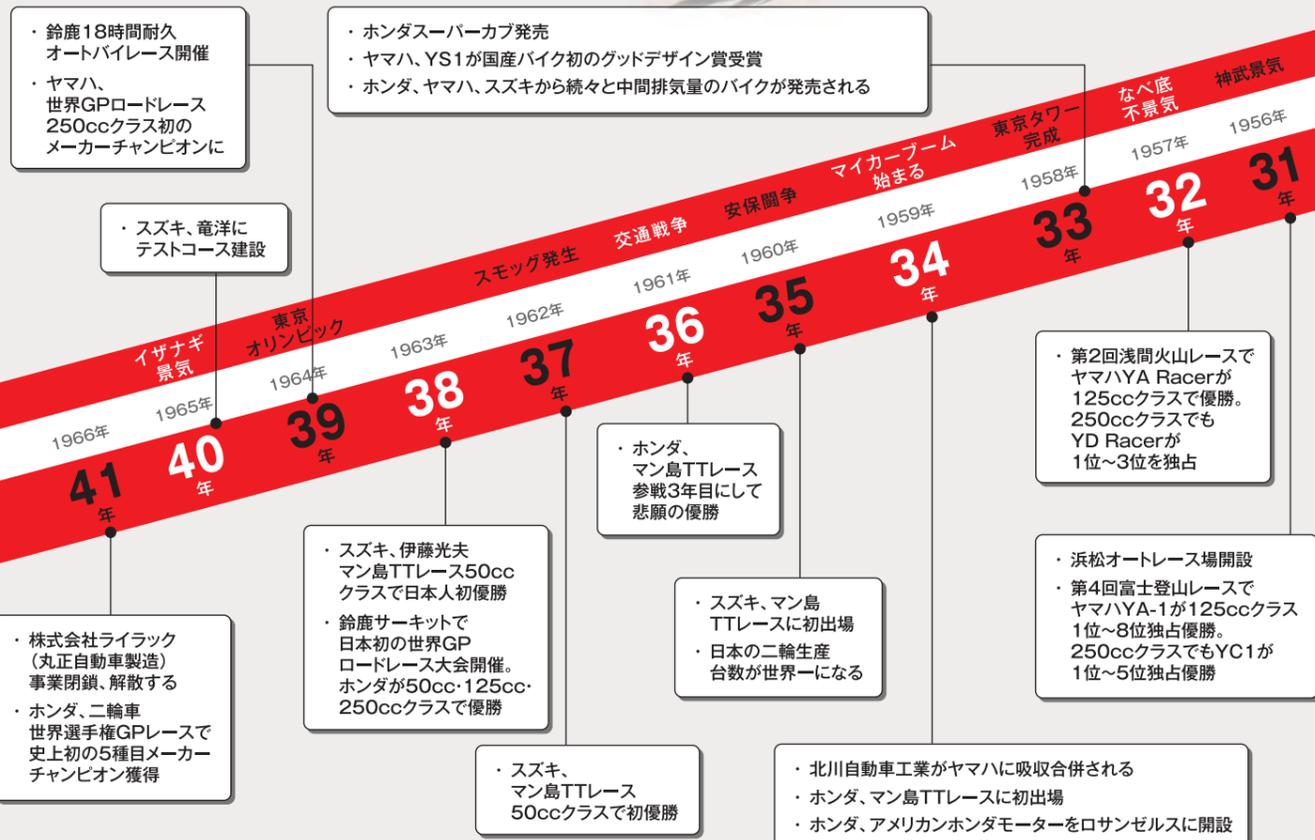
そこで造られるバイクの性能を試すには舗装され、長い直線、坂道、カーブと変化のある六間道路は最適の道だったに違いない。

自転車に補助エンジンを取り付けるスタイルから、瞬く間に自社製エンジン、専用フレームを持つ、現在のバイクに通じる構造へと進化した。

徐々に上がっていく性能とともに、開発力のない工場は淘汰され、生き残りをかけて自社のバイクの速さを日々競い合う、まさに「六間道路グランプリ」がこの道で繰り広げられていたのだ。

次々に名乗りをあげるメーカー 当時六間道路はバイクの テストコースでもあった

浜松市東区宮竹町の国道1号線交差点から少し南、浜松市街を西に伸びる道幅六間（およそ11m）の道は、古くから「六間道路」と呼ばれ、軍施設に資材を運ぶ関係から市内でもいち早く舗装された道だった。長い直線と、ヘアピンカーブのあるこの道を舞台に、太平洋戦争終戦後の復興とシンクロするかのように、自らの工場で作上げたバイクで、メーカーが日々性能を競いあった。



六間道路 番外編 グロリア

浜松バイクヒストリー



古くからのものづくりの街 焼け野原になっても消えなかった ものづくりの火

大正時代には、鉄道院浜松工場の誘致で当時最高レベルの工業技術が集結し、「ものづくりの街」の基礎が築かれた。

太平洋戦争時には艦砲射撃によって、浜松市街はほぼ焼け野原となったが、それでも「ものづくり」の灯は消えなかった。戦後すぐに復興は始まり、使える資材・機材を集めてバラックでの「ものづくり」が再開された。

なぜ浜松が バイクの ふるさと なのか

ホンダ、ヤマハ、スズキと日本のバイク3大メーカー創業の地である浜松。その礎となる「ものづくり」の気質は、江戸時代にまでさかのぼる。

浜松は東海道の中心にあり、東西の文化が往来する地域性の中で、よそ者を受け入れる土壌や自主・独立の気風が育った。また温暖な気候や北部の山からの木材、それを下流に運ぶ豊かな水を讃える天竜川と、豊富な資源に恵まれ、江戸時代から綿花の栽培・綿織物の製造が盛んで、織機の製造に伴い木工や鋳物技術が浸透していった。そして、二宮尊徳による報徳思想の普及もあって人々の勤労意識が高まり、明治以降の街の発展につながっている。

浜松は東海道の中心にあり、東西の文化が往来する地域性の中で、よそ者を受け入れる土壌や自主・独立の気風が育った。また温暖な気候や北部の山からの木材、それを下流に運ぶ豊かな水を讃える天竜川と、豊富な資源に恵まれ、江戸時代から綿花の栽培・綿織物の製造が盛んで、織機の製造に伴い木工や鋳物技術が浸透していった。そして、二宮尊徳による報徳思想の普及もあって人々の勤労意識が高まり、明治以降の街の発展につながっている。

六間道路の今



城北の交差点付近。道路拡張で館山寺街道につながる犬塚坂に直結しているが、川島モーターズの先を北に向かうカーブのある道が六間道路。その先は静岡大学浜松キャンパス、和地山公園(旧陸軍練兵場跡)方面に続く。この区間だけ普通の六間(およそ11m)の道幅のまま。



中区山下町に本田宗一郎が昭和21年(1946年)に本田技術研究所を立ち上げた場所。その後昭和23年(1948年)には本田技研工業株式会社として法人化。この場所は山下工場として稼働し、バイク第1号「ドリームD型」の誕生の地となった。この木碑は南側歩道にある。



「本田技研発祥の地」の木碑付近は今も拡張工事中。浜松市役所のある南北に走る大手通りまでの区間は、この道路拡張が完成すればほぼ全てが片側2車線の広い幹線となる。昭和から延々と続いた工事も、平成、令和と3つの時代を跨ぎ間もなく完了となるはずだ。



中区八幡町の遠鉄西鹿島線高架付近。高架前は踏切があり、東からの直線路と、西に向かって坂とカーブのある部分と一つの区切りになっていた。



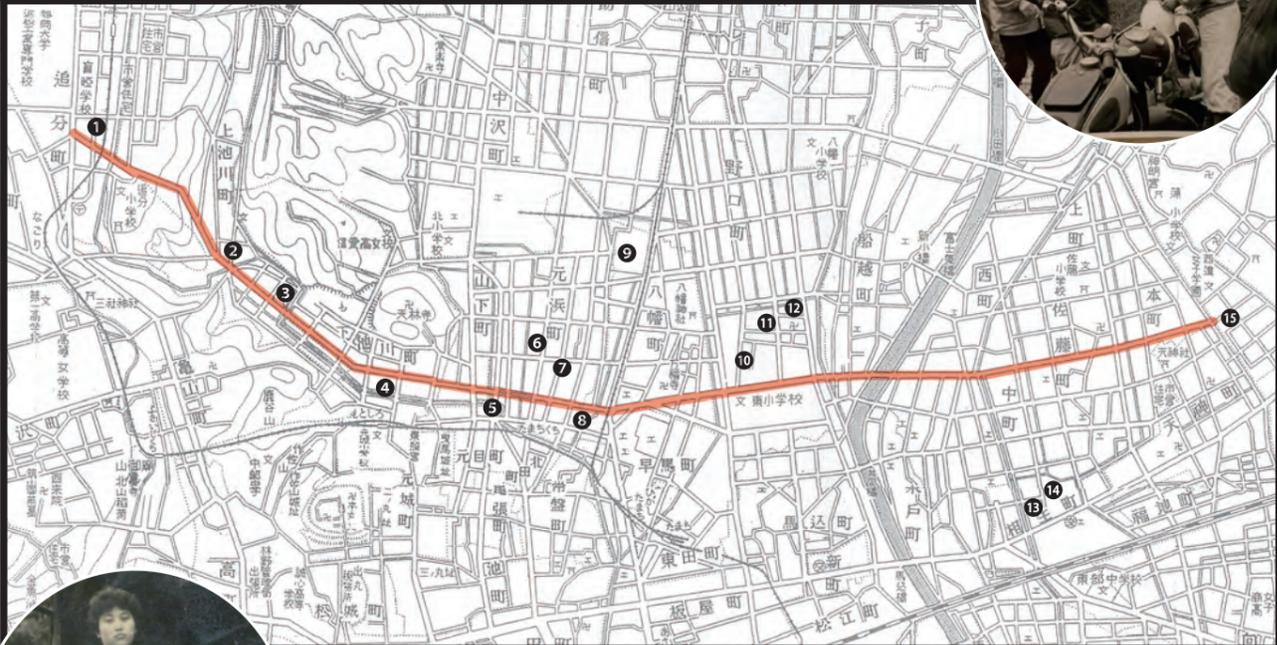
馬込川の手前付近。六間道路沿いに静岡文化芸術大学が開校。駅に向かう区画は遊歩道やロータリー交差点のある近代的な街並みに整備された。



現在の六間道路の東端である国道152号線との交差点付近。ここからも市街地まで、まっすぐ西に向かって伸びる長い直線路であることがわかる。

令和 平成

昭和24年(1949年)頃の浜松全図より六間道路周辺の拡大図



- ①旧練兵場(静大工学部)付近にトラックを止め、下り坂を利用して試験車両を押しがけしていたという逸話が残っている。
- ②川島自転車(川島モーターズ) ③丸正自動車製造(ライラック) ④杉本商会(オリンピック) ⑤本田技術研究所(本田技研工業)
- ⑥ロケット商会(クインロケット) ⑦中央機関工業所(センター) ⑧木下商店 ⑨日本楽器製造(ヤマハ発動機(本社))
- ⑩三共機械製作所(サンキョウ) ⑪天龍自動車工業(ホープスター・リーダー) ⑫堀井冷蔵機械浜松工場(ひばり) ⑬中部自動車航空(ライジング)
- ⑭村井モーターズ(ニューセンター) ⑮道路の拡張・延長前は、西遠女子学園前あたりまでが六間道路だった。

※地図と当時の住所の整合性が取れないため、おおまかな位置としてご覧ください。

六間道路の歴史を見守り続ける木下商店

木下商店は、中区八幡町の六間道路沿いに店を構える銅材の小売りを営む商店。創業は大正12年(1923年)。現在3代目として商売を受け継ぐ木下肇(さとし)はじめ氏に話を伺った。

創業当初から金属資材を大きなロットで販売する商社とは違い、鉄板一枚から少量小売りするスタイルが特徴で、当時から個人経営で工場や鍛冶屋を営む顧客が遠方からも多く訪れた。その中には昭和3年(1928年)に六間道路を挟んで筋向いに「アート商会」を開業した本田宗一郎の姿もあったという。

「道を挟んでも本田さんの怒鳴り声はよく聞こえてきたそうですよ(笑)」

戦後、本田技研を創業した後も取引は続き、丸正自動車をはじめ数々のバイク製造に関わる工場にもフレームやブラケットを作るための資材を納めていたそうだ。

「幼い頃から祖父や父から六間道路とバイクにまつわるいろんな話を聞いて育ちました。」

肇さん自身も旧車のレストアをしたり、現在もベスパ、SR、赤カブを所有するバイクを愛するひとりである。



消えていった数々のメーカー 国内3大メーカーが残った

六間道路やがつわものどもが夢の後

終戦から10年を過ぎた頃には、バイクの形も性能も世界の水準に随分近づいてきていた。軍需製品であるプロペラを作っていたことから、工場を接収されていた日本楽器製造(のちにヤマハ発動機として分社)が、接収解除後、バイクの製造に乗り出し、戦前から自動車製造を模索していた鈴木式織機のちの鈴木自動車工業)も浜松市内から隣接する可美村に移転。エンジン付き自転車のパワーフリー号を好調に売り上げ、本格的なバイク「コレダ号」を発表する。ライラックの丸正自動車も次々にニューモデルを発表していった。

日本国内各地でバイクの草レースが行われ、浅間火山レースや富士登山レースでもメーカーの意地をかけた熾烈な戦いが繰り広げられた。

六間道路発のバイクメーカーは、ホンダは全国展開を目指して本社を東京に移転していった。丸正自動車のライラックは国内レースに参戦し成績を上げ好調に見えたが、経営破綻で姿を消した。独自の路線で人気のあった北川自動車工業は、ヤマハに吸収合併された。

倒産、部品製造に特化していくなどして、多くのメーカーが姿を消していく中、ホンダ、ヤマハ、スズキは国際レースにも出場し、着実に性能を上げ、販路を拡大していき、世界的なメーカーとして大きく育っていった。



1960年代から行われた道路の拡張や周辺の区画整理で、現在の六間道路にバイクメーカーが競い合った当時の面影は少ない。

2000年には市街にほど近い六間道路沿いに静岡文化芸術大学が開校。浜松駅に隣接するアクトシティから六間道路に至る区画は近代的な街並みに生まれ変わっていった。

軍用路として整備され、戦後は浜松のバイク産業の発展の要の場であった六間道路。現在でも重要な生活道路として機能している。浜松をバイクのふるさとにした道を、その歴史に想いを馳せながら、走ってみるのも良いかもしれない。

- 資料提供・取材協力・参考文献
- 昭和30年代後半浜松市街・六軒道路空撮写真提供 浜松市/高須修氏
 - 昭和20年代後半のバイク風俗写真提供 浜松市/赤塚俊彦氏・浜松市/高久訓子氏
 - 鉄道院浜松工場写真・昭和24年頃の浜松全図 浜松市中央図書館調査支援室
 - 昭和10年~20年頃の浜松市中央部・住宅/商店街復元地図 浜松市/小西貴氏(個人の制作による地図)
 - 木下商店 浜松市中区八幡町15-3
 - 財団法人静岡県文化財団刊「しずおかオートバイ列伝」
 - 天野久樹著「浜松オートバイ物語」

エンシューアスト編集部は、今後も六間道路、浜松のバイクの歴史について取材を続け、次の世代へ継承していきたいと考えています。それに関わる資料・写真のご提供、取材など、ご協力いただける方がいらっしゃいましたら、是非編集部までご連絡ください。

レース観戦の限界を超えろ!

2022年7月にオープンしたメインスタンドは、従来のスタンドよりも競走路から近くに建てられ、屋外観覧席はゴール前の激しいデッドヒートが間近で見られる臨場感あふれる特等席。建物内2階の有料席は全面ガラス張り。空調の効いた快適な空間でレースを楽しもう。競走路全体が見渡せるスタンド2階と3階の屋外テラス(エキサイティング・テラス)は、景観が抜群の展望スペース。



すべてが
エキサイティング!



梅本まどかの



BEYOND THE LIMITS

限界を超えろ!!

浜松オート

HAMAMATSU AUTO

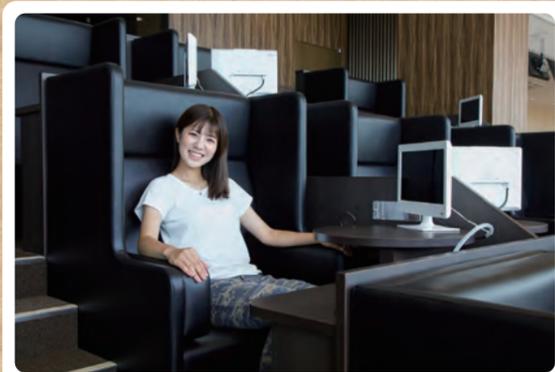
大解剖



1F/最新の発売機やモニターがずらっと並ぶ無料エリア。開放感あふれる広いスペースでストレス無く車券の購入ができる。



2F/A席(利用料500円)・・・リーズナブルな価格で快適にレースが楽しめる。全席コンセントが設置されているのも嬉しい。



2F/S席(利用料2,000円)・・・座り心地の良いソファは、パーソナルスペースが確保され、ゆったりとレースが楽しめる人気席。モニターとコンセントを全席に設置。



2F/グランルーム(利用料15,000円)・・・1~6名まで利用できる完全個室のラグジュアリースペース。家族や友人とワイワイ楽しめるスペシャルな空間。

バイクのふるさと浜松2022の会場でもある浜松オートレース場。

メインスタンドがリニューアルして、更に迫力あるオートレースを楽しめるようになった。

真剣勝負のオートバイレースを気軽に間近で体験できるオートレース。

オートレース初心者のバイク女子『梅本まどか』が

浜松オートの魅力を徹底解剖。



大注目!

地元・浜松所属

オートレーサー



KEIICHIRO SUZUKI

鈴木圭一郎選手

2022年後期、全国ランク1位のS級レーサー!通算優勝回数61回、グレートレース優勝回数29回(※2022年9月20日時点)などなど、数えたらキリがないほどの記録を持っている平成生まれの現役最強レーサー。現役最強レーサーの走りを間近で見られるなんて凄い!!

鈴木圭一郎選手は趣味がマシンいじりと言うほど整備が好きで、レースの日は自分のマシンを、休日も車やバイクいじりをすっどやってるんだって。鈴木圭一郎選手の強さの秘密を垣間見たかも。



SENA MASUZAKI

榊崎星名選手

祖父の兄が第1回SS王座決定戦の初代覇者榊崎正さん、父の従兄弟がオートレーサーの榊崎陽介選手でオートレースが常に身近にある環境で育った、24才の若き女性レーサー。名前の由来は音速の貴公子アイルトン・セナ。得意のスタートを武器に経験を重ね、今後の成長は期待大。こんな可愛い女の子なのに、走ってる姿が凄くカッコいい!!

浜松オートレース

〒433-8125 浜松市 中区和合町 936-19
TEL 053-471-0311 <https://www.hamamatsu-auto.jp/>



オートレースSpecial入門サイト https://autorace.jp/autorace_guide/

衣装協力:株式会社デイトナ



オートグルメの限界を超えろ!

メインスタンド1階に新設された養老乃瀧グループの〈ゼロ飯食堂〉では、がっつり食べられるご飯・麺類から、テイクアウトも可能な軽食まで、ワンコインで購入できるリーズナブルなメニューが豊富。お腹も心も満たしてくれる。



地元浜松産の食材を使った「豚生姜焼丼」と「舞茸天丼」(各500円)がボリューム満点で人気。「厚切りハムカツ」(300円)を食べて、勝負に勝つ!



厚いうえに大きいハムカツ!

エキサイティングの限界を超えろ!



洗練された車体がかっこいい!
ブレーキやヘッドライト、メーター類など速く走るために、必要のないものは全て取り除いた洗練された車体。

エンジンは地元企業SUZUKI製
SUZUKI製エンジン「セア」600cc(新人は500cc)のワンメイク。

ハンドルが左右非対称!?
オーバルコースを走るため独特のスタイルで、傾斜したバンクを走っても安定するようにハンドルが左右非対称になっている。

平均時速 100km/h 以上のスピードと、大迫力のエンジンサウンドは正にエキサイティング&スリリング。本レースでは選手毎にハンデがあるので、選手間の実力差も埋まり大逆転劇も度々起こる。自分の推しの選手のランクが低くても1着になる可能性が十分にあるのもレース応援の魅力の一つ。

大迫力の走りがエキサイティング!!
1周500mのオーバルコースを最大8台が6~10周し着順を競う。最高速度150km/h。





佐久間ダム
天竜川に建設された日本屈指の巨大ダム。ダム建設用を転用した素掘りのトンネルやダムを横断する県道1号からの眺めは一見の価値あり。



日本一の大天狗面
秋葉の天狗伝説にちなんで作られた春野町のシンボル。高さが8m。鼻の長さは4mもある日本最大の天狗面。



奥大井湖上駅
大井川鉄道井川線の湖に浮かぶ絶景の秘境駅。



浜名バイパス 浜名大橋
太平洋と浜名湖をつなぐ橋は浜名バイパスの絶景ポイント。白い砂浜と白波が描き出す景色はライダーに爽快感を与える。

バイク店 YSP浜松 WBR
浜松市中区茄子町353-15
TEL: 0120-008-198

- スポット
- 道の駅
- フード&カフェ

どこいこ?遠州

ぐるっと! 遠州ツーリングマップ

ENSHU TOURING MAP

山と海に囲まれ、温暖な気候の遠州地方は1年中バイクが楽しめるツーリング天国。西へ東へ南へ北へ、バラエティに富んだお勧めスポットが盛り沢山。綺麗な景色で心を満たし、美味しいグルメでお腹を満たす、エンシュージラスト編集部お勧めのツーリングスポットを大紹介。次の休みは愛車と一緒にどこいこ?



01 SHOP&CAFE 晴耕雨読
静岡県榛原郡川根町千頭316-1
TEL:0547-59-2333
寸又峡の自然を満喫できる場所。ショップとカフェの本店をはじめ、近隣に貸切日帰り温泉、ゲストハウスのある晴耕雨読Village、湖上駅Caféの3拠点を展開している。



02 風のマルシェ御前崎
静岡県御前崎市戸合4384-1
TEL:0537-85-1177
御前崎市をはじめ、近隣の地域より毎日新鮮で美味しい農産物や地元ならではの惣菜、お土産などがいっぱい。御前崎レストラン「たわらや」では、朝ラーメン・朝そば営業中(7時~11時)



03 リバティリゾート 大東温泉
静岡県掛川市国安2808-2
TEL:0537-72-1126
海の近くの温泉宿泊施設、大東温泉。キャンプフィールド、グランピングコテージ、この夏にはホテルもオープン。海の声と風の音を聞きながら、時を忘れた時間を過ごせます。もちろん日帰り温泉もオッケー。



16 保木平珈琲 Murmure

愛知県新城市乗本保木平13-4
TEL:0536-30-1604

豊川を見下ろす絶景のロケーションに建つ、工房のような建物が特徴のカフェ。木の温もりを感じられる落ち着いた雰囲気、一人でゆっくりとツーリングの疲れを癒すのに最適。



17 道の駅したら

愛知県北設楽郡設楽町清崎字中田17-7
TEL:0536-63-0120

2021年5月にオープンしたばかりの新しい道の駅。地元の食材をたっぷりを使用した「清嶺食堂」のお勧めは設楽町産の鹿肉ローストと網焼サーモンを贅沢に使った「森と川の贅沢丼」。



18 長坂養蜂場

浜松市北区三ヶ日町下尾奈97-1
TEL:0210-40-1183

はちみつを使った様々な商品が並び、人気なのは、これでもかと言うぐらいの追いはちみつのソフトクリーム。これを目当てに浜名湖をツーリングするライダーも多いとか。



19 麺s Diner KAMACHI

静岡県湖西市鷺津404-1
TEL:053-401-3004

民家を改装したオールドアメリカンな内装。アメリカン雑貨も多数販売しており、久留米市出身のオーナーが提供するラーメンは、あっさり豚骨スープと細麺で本場の味。



20 だみねテラス

愛知県北設楽郡設楽町田峯字鍛冶治37
TEL:0536-64-5516

歴史ある田峰観音の入口にある新しいライダーの休憩所。隣接する田峯産物直売所名物の五平餅を奥三河の山並みが展望できる景色と一緒にテラスで楽しめる。



21 遊べる花屋

愛知県北設楽郡設楽町西納庫駒ヶ原295
TEL:090-4193-6088

標高約900mの段戸山駒ヶ原高原にある植物農家さんが経営するカフェ&フラワーショップ。雄大な山に囲まれ、遊び心を詰め込んだ店舗は、ゆっくり時間が流れているのんびりできる空間。



22 道の駅潮見坂

静岡県湖西市白須賀1896-2
TEL:053-573-1155

東海道五十三次白須賀宿にほど近い潮見坂下にある道の駅。愛知との県境も近く、太平洋を一望できる足湯にのんびり浸かるのもおすすめ。

WBR推進プロジェクトの WBR とは?

Welcome Bikers Roadstationの略。文字通り「バイクを歓迎してくれるバイクのための道の駅をつくりたい」というのが基本構想だ。推進プロジェクト代表の松木 閔央氏はバイクのためのインフラ整備やバイクを歓迎してくれる場所づくりを、さまざまな施設や行政に提言している。

「ツーリングの途中に立ち寄り、目的地にできるようなバイク歓迎のスポット、バイカーの交流拠点が増えたら楽しいですね」。

現在すでに遠州・三河地区で、道の駅をはじめ公共施設、カフェなどマップ内にも掲載した8箇所がWBRの趣旨に賛同してくれている。また、賛同してくれたスポットを舞台に、SNSを通じて参加者を募り、隔月でミーティングを行い、バイク談義とともにWBRの構想を説明する機会を作っている。

「要はバイクをもっと快適に楽しむための草の根運動なんです。この輪を広げていくにはバイクに乗る我々がグッドマナー・セーフティライドを心がけることが必須です」。

松木氏はWBRの活動をPRするため「バイクのふるさと2022」にもブースを出展している。



WBR推進プロジェクト代表 松木 閔央 ETSUO MATSUKI

福井県出身。バイク歴は16歳で免許を取得してからすでに半世紀。大学卒業後ヤマハ発動機に入社。スーパーネズレ、XR1300、TDM850などさまざまな大型バイクの開発に携わり、社内8耐チームの監督も務めた。現在の愛車はヤマハWR250RとBMW F850GS。

WBR構想の詳細説明動画はこちら



04 掛川USAヴィレッジ

04 掛川USAヴィレッジ

静岡県掛川市領家528-1
TEL:0537-64-6002

50席の本格派ハンバーガーショップやホットドッグ専門店その他、80台のヴィンテージ・ハーレーが並ぶカスタムショップで構成される複合施設。駐車場は100台収容。掛川ICから10分程度の好立地が人気ポイント。



05 本と、珈琲と、ときどきバイク。

静岡県掛川市富部150-7
TEL:080-6364-1872

「バイクと出会うため」がコンセプトの小さな本屋さん。「自家焙煎珈琲豆シロネコ」の豆を使った喫茶スペースもあり、店主厳選の書棚からお気に入りの一冊と出会う。



06 アクティ森

静岡県周智郡森町問詰1115-1
TEL:0538-85-0115

陶芸・和紙・草木染めなどの創作体験をはじめ、スポーツなどのアウトドア体験、レストラン、軽食、特産物販売も充実した複合型体験施設。広々とした駐車場とトイレを完備し、ツーリングの集合場所としてもおすすめ。



07 渚の交流館

静岡県磐田市豊浜4127-3
TEL:0538-30-7091

シラス漁で有名な福田港に隣接した磐田市の運営する公共の施設。鮮魚、野菜の販売や飲食はテナント形式でお店が入っていて、そこで買ったものは中のフードコートやテラス席でゆっくり食べられる。



08 la vie libre

浜松市天竜区春野町堀之内983-2-2
TEL:090-1754-1874

レトロな佇まいの歴史ある旅館をリノベーションしたカフェ。地元産の野菜やフルーツを使ったカフェードを提供。看板犬が出迎えてくれる。



09 秋葉山本宮秋葉神社

09 秋葉山本宮秋葉神社

浜松市天竜区春野町領家841

火防の神さまとして名高い「秋葉大権現」を祀り、全国から参拝客が訪れる。標高866mの上社境内の金色に輝く「幸福の鳥居」からは遠州灘までを一望できる。



10 Café de clark

静岡県浜松市天竜区谷山45
TEL:090-1754-1874

赤い屋根が目印の山に囲まれた古民家カフェ。ヤギと猫が出迎えてくれる。庭のプランコからの景色も最高。



11 大歳神社

11 大歳神社

浜松市東区天王町1484-1
TEL:053-421-6447

バイクのふるさと浜松でライダーが大勢集まる通称「バイク神社」。平安時代から続く由緒ある神社で、地元では「お天王さま」と親しまれている。交通安全と身体健全を願うバイク専用の「道楽守り」が人気。



12 KAREn HaMaNaKo かんざんじ荘

浜松市西区呉松町1768-1
TEL:053-569-6433

窟山寺温泉を見下ろす大草山にある宿泊施設。カフェ、浴場、レストランは日帰りでも利用可能。カフェからの浜名湖の展望は四季折々に楽しむことができる。



13 ライダースカフェはまなこ

13 ライダースカフェはまなこ

浜松市西区舞阪町弁天島2739-2
TEL:053-596-3770

カワサキのW好きなオーナーが週末だけ営業しているライダースカフェ。マスターの人柄に惹かれ、休みの日には多くのバイクが集まる。



14 道の駅鳳来三河三石

14 道の駅鳳来三河三石

愛知県新城市下吉田字田中106-1
TEL:0536-34-0139

国道257沿いにあり、ライダーにはお馴染みの道の駅。優しい風味の胡桃入り味噌ダレが自慢の三五平餅は新城産のお米を使っている。



15 寄り道カフェ ロンボワン

15 寄り道カフェ ロンボワン

静岡県湖西市新居町新居1261
TEL:053-594-0650

古民家をリノベーションしてできた隠れ家的カフェ。優しい料理や、古民家独特の落ち着いた空間が魅力。風情ある街並みが楽しめる新居のニュースポット。

FOR ALL THE MOTORCYCLE, CAR & MUSIC LOVERS

The Enshu Siast Magazine

TAKE FREE!

Riding For Joy

バイクと音楽、時々クルマ。

エンシュージアスト
2022 / Vol.6



ALL FOR RIDERS

全てのライダーのために



ホンダ クロスカブ110



ヤマハ シグナス グリファス



カワサキ ZX-25R



ヤマハ MT-25



カワサキ Z900RS

KTM 890 ADVENTURE R



ベスパ PRIMAVERA125

ホンダ レブル250



スズキ Hayabusa

通う ~250cc
for 通勤通学

初心者向け乗り方講習開催

電動アシストサイクル・
電動スクーター勢揃い

遊ぶ 250~400cc
for レジャー

ツーリングイベント開催

バイクレンタルサービス
HondaGO!



旅する 400cc~
for ツーリング

国内全メーカー・海外ブランド
取り扱い

豊富なサービススタッフによる
丁寧なメンテナンスで安心

KAWASHIMA MOTORS



川島モーターズ 本店

〒432-8011 浜松市中区城北1-10-8
TEL.053-471-2543
営業時間：ショールーム9:30~19:00、
サービス工場9:30~18:00
休業日：水曜日・第3木曜日



川島モーターズ 元浜店

〒430-0942 浜松市中区元浜町76-5
TEL.053-478-0877
営業時間：ショールーム9:30~18:30、
サービス工場9:30~18:30
休業日：水曜日・第3木曜日



カワサキ プラザ浜松

〒432-8061 浜松市西区入野町10001
TEL.053-415-1177
営業時間：10:00~19:00
休業日：水曜日、第2・第4木曜日



カワサキプラザ豊橋

〒440-0092 愛知県豊橋市瓜郷町一新替67-1
TEL.0532-26-2277
営業時間：10:00~19:00
休業日：水曜日、第2・第4木曜日

取扱メーカー

HONDA YAMAHA SUZUKI Kawasaki KTM aprilia MOTO GUZZI Vespa KYMCO



本店は2018年より「ヤマハアドバンスディーラー」認定店です。



Riding For Joy



バイクと音楽、時々クルマ。

ここ遠州・浜松地域はバイクと音楽文化が根づいたステキな場所。
遠州+熱中人=エンシュージアスト。さあ、今日もLet's Ride, For Your Joy!

梅本まどか

MADOKA UMEMOTO
SKE48でのアイドル時代を経て、現在はバイク、モータースポーツ関連のメディアなど幅広い分野で活動中。日本二輪車安全普及協会2022アンバサダー。「バイクのふるさと浜松2022」には、Webオートバイのバイク女子部として参加。
twitter: twitter.com/maronchan_1
Instagram: instagram.com/umemado.1/

The EnshuSiaast Magazine

VOL.6 CONTENTS

AD INDEX (50音順)

有限会社オグショー...P.26、株式会社河合楽器製作所...P.51、川島モーターズ...P.24、株式会社クシタニ...P.43、ざいまかなきぶん...P.50、しんしろカートコース...P.46、株式会社デイトナ...表4、浜名湖自動車学校...P.59、バランスデザイン株式会社...P.34、マンブルズ・どんぐり食堂...P.52

The EnshuSiaast Magazine Vol.6

2022年10月15日発行

Publisher: Hiroki Yamakawa
Editor: Satoshi [TEXAS] Ohnuma
Editorial Staff: Don U1 Sahara, Agito Ishizuka, Yamasan Yamakawa, Takumi Watanabe, Mayumi Kuno, Kosuke Ogusu, Katsumi Matsushita, Hana Suzuki, Takuya Hiramatsu
Photo: Hidekazu Kurumiya, Taketoshi Kurebayashi, Masahiro Furuhashi
Text: Texas Ohnuma, Don U1 Sahara, Agito Ishizuka
Illustration: BASHI, Watataku Takumi

発行: 有限会社キーウエスト クリエイトイブ
〒430-0928
静岡県浜松市中区板屋町101-22 エンシュージアスト編集部
TEL: 053-450-0222 FAX: 053-450-0225
mail: info@key-w.com
印刷: 東海電子印刷株式会社
表紙 Model: Madoka Umemoto
衣装協力: MaxFritz by DAYTONA
Photo: Taketoshi Kurebayashi

特集 バイクのふるさと浜松 2022 徹底ガイド

浜松オートレース場がバイクのテーマパークになった!

会場全体図・イベントスケジュール(会場スタンプラリー台紙).....	02
イベントラインナップ.....	04
展示ブース・出展者情報.....	06
教えて平さん! セーフティ・ツーリング8箇条.....	08
六間道路グランプリ番外編「浜松バイクヒストリー」.....	12
BEYOND THE LIMITS「浜松オート大解剖」.....	16
どこいこ?遠州「ぐるっと!遠州ツーリングマップ」.....	20

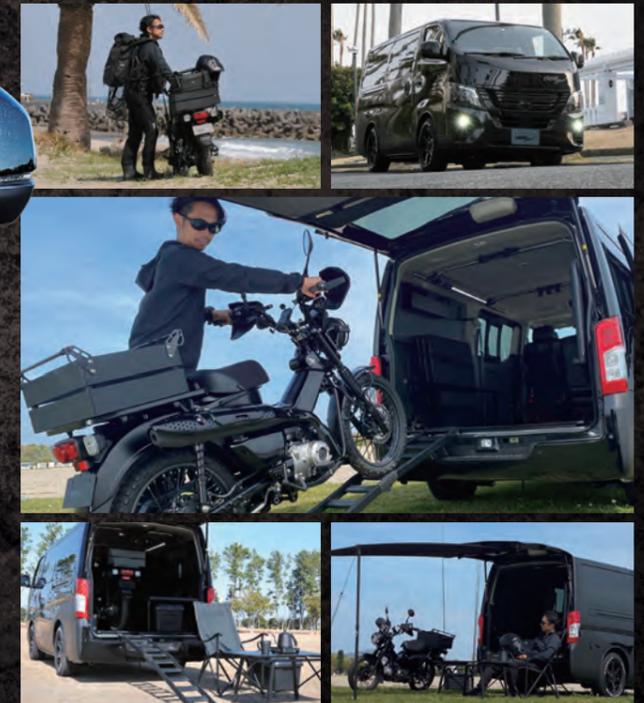
The EnshuSiaast Magazine VOL.6

遠州のエンズー列伝

デイトナが提案する新たなバイクカスタマイズ WHAT'S NEW? DAYTONA PRODUCT.....	35
Never Stop Challenging. 進化し続ける、クシタニのモノづくり.....	40
1人乗り超小型EV「NINA」株式会社 サインクリエイト.....	44
遠州の銘品「株式会社山下工業研究所 Z-EALシリーズソケットレンチ」.....	47
ENSHUSIAST INFORMATION.....	49
ENSHUSIAST TEA COLUMN.....	51
ENSHUSIAST CAFE COLUMN.....	53
GS偏愛コラム ~ Good Day Sunshines.....	54
EnshuSiaast Friendly Shops.....	56
From Editors ~ 編集後記のような話.....	57
コラム~ 喫茶ゆるはま.....	58

OGUSHOW 30TH ANNIVERSARY EDITION OGUSHOW ES TOUGH SPEC CONCEPT

オグショー
ESタフスペック
コンセプト



特別なカスタマイズが、あらゆるシーンを非日常にする。

「OGUshow 30th Anniversary」
「Research & Development」
「Tough Spec」「Black Concept」「Easy Style」
5つのキーワードを開発コンセプトに、
日常から休日まで全てのシーンに対応する
仕様にカスタマイズされた
「OGUshow ES TOUGH SPEC CONCEPT」。

遠州の伝

何かに夢中になること。
それは人を前に動かす原動力になる。
エンスージラスト 熱中人たちの、
熱き情熱を注ぐ原点を掘り下げる。



希少なジムニー8(エイト)。
現在も「完璧なオリジナル化」を目指しメンテ・レストア中。



重心を下げることで走破性を上げるために作ったというEVジムニー。
この程度の角度は楽勝!とのこと



型式ごとに歴代ジムニーが並べられた
ジムニー50周年イベント会場



発売直後の新型ジムニーの屋根をカットして軽量化。
また改造する部品も発売されてない中で、工夫してチューンを楽しむ。



PROFILE

栃木県出身。幼い頃からスキーに親しみ学生時代からクロスカントリーの選手に。大学卒業後ヤマハに入社し、スキー事業部で活躍。生粋の車好きも相まって車でもクロスカントリーにはまる。四輪駆動車の面白さを知る中でスズキジムニーと出会う。



ケータハムスーパーセブンR500。
鈴鹿サーキットでの走行会のスナップ。

小さい・軽いが生み出すメリット だからジムニーは面白い。

ジムニーエンスー「浜松市中区」清水 純

スキーを車に乗り替えて
悪路を制覇する

学生時代にクロスカントリースキー(以下クロカカン)に出会い、雪の野山をスキーで駆け抜ける距離競技に没頭した。卒業後もスキーに仕事として関わってきたが、感じる楽しさが少しずつ変わっていった。

「スキーの商品企画や販促活動、特に選手対策やその用具開発は楽しかったし学べることも多かったのですが、やはり趣味は仕事にするもんじゃないと実感しました(笑)」。

機材の運搬などで雪道や悪路を4WDの車で走る中、スキーではなく車でクロカカンに目覚めた。元々車好きであった清水氏は、国内外のオフロード競技に出場し、自ら浜松市引佐区に2万坪のクロカカンコースを作るほど、どっぷり沼にはまりこんだ。数々の4WD車乗り継ぎ、多い時はオフロード系のカー雑誌4誌に連載ページを持つほどのマニアとなっていた。

「クロカカンの中でも電動や手動ウィンチを使つての山岳登山みたいな記事を書いていたんですが、クロカカンはあくまでも趣味。仕事にしないと決めて原稿料はもらっていませんでした。」

お金をもつて仕事として関わってしまつと面白く無くなってしまつたらと笑う。そして、クロカカンの優れた競技車両としてジムニーを知り、その魅力にのめり込んでいった。クロカカンやジムニーを通してさまざまな出会いもあり、頼り頼られとされているうちに、全国に31の支部を持つジムニーフランの総本山「J・C・J(ジムニークラブオブジャパン)」の副会長に就任した。



ジムニーエンスー

清水 純



ガレージビルドエンスー

大石博和



エンデューロエンスー

栗屋俊輔

ジムニー50周年イベントを
天竜川河川敷で開催

去る7月には、コロナ禍の影響で2年遅れてJ・C・J主催のジムニー誕生50周年イベントが生誕の地である浜松で開催された。地元ホストとして清水氏はその準備に奔走し、開催日の3日前から会場である天竜川河川敷に泊まり込みで準備作業を行なった。会場には初代から4代目となる現行モデルまで、全国からジムニーが集まり、参加車両数はおよそ1300台、参加人数は2000人にもおよび、老若男女を問わないジムニーフランの裾野の広さを改めて実感するイベントとなった。

ライトウエイトをこことん愉しむ

清水氏は現在、クロカカン用に自らルーフを切った現行ジムニーシエラと、通称エイトと呼ばれるS・J20型を所有しているが、歴代ジムニーの中で一番思い入れのあるのは、50cc水冷3気筒2サイクルエンジンを積んだS・J30型のジムニードーだといふ。

「身も心も軽くなった感じで運転が楽しいんです(笑)」。シエラとともにガレージに収まるもう一台の愛車はケータハムスーパーセブンR500。オンとオフ両極端に見えるが、清水氏の中では「小さい」「軽い」という共通項で括られている。これまでのカーライフでその二つの要素がメリットとなり、車を操る楽しさに繋がっていくと考えているからだ。

退職後は車3昧の日々を送り、趣味としてとことん楽しむ姿は、まさにエンスージラストでありエンシユージラストとも言えるだろう。



一人一人のお客さんをイメージして、ガレージを製作する。ガレージを待つお客さんの笑顔のために、丁寧な作業を心がける。



納品時のトラックやユニフォームもかっこよさを意識する。「プロが届けるガレージ」はオーナーの満足度をさらに上げる。



仕事が終わると自宅ガレージで愛車のメンテ。遅い時間でも気になる箇所をいじり始めると、ついつい時を忘れて夢中になる。



性格的にも細部の精度には手が抜けないという。きっちり仕上げた部材を組み合わせることで、信頼性の高いガレージが仕上がります。



プラモデルづくりも子供時代からの趣味。作る時間が足りないのは悩みの種だが、車両の解説を読むだけでも楽しいという。

KAZUHIRO OHISHI



PROFILE

静岡県掛川市出身。バイク、クルマなどの乗り物全般を趣味とする。ダイナオガレージファクトリー代表として、全国のライダーの元にオリジナルガレージを届けている。娘さんが作るシフォンケーキの大ファン。



最近手に入れたボリス仕様のKZ1000。現地でリアルに使われていた個体はシフトフィールもクイックで実際に乗りやすい。

遠州の 工場の 列伝



ガレージが人生を豊かにする。 夢を追い続けるビルダーの原点とは？

ガレージビルドエンスー【掛川市】大石博和

ガレージビルダーとしての原点

バイク用ガレージとしての作りの良さと、全国の愛好家から支持されるダイナオガレージ代表である大石さんのガレージ作りの原点は、16歳のとき。免許を取ってすぐに買った中古のNS250Fだった。

人生初のエンジンが付いた乗り物は、自由の象徴。どこにでも行ける気さくさく、堪らなく嬉しかった。そんな大切な愛車を屋外で雨風にさらしたくはない。バイク専用のガレージが欲しくて、すぐに行動に移した。家業の建築業を小さい頃から手伝っていたから、大工道具や材料は身近にあった。そこで家族に許可を取り、実家の農機具小屋に自分で扉をつけ、ベニヤ板で囲ったスペースを製作。整備したり、仲間とたべたりして過ごせるガレージを手に入れた。バイクで楽しむこと。ガレージライフの両方を同時にスタートしたのだった。

大好きなガレージ作りを ライフワークに

バイクからガレージライフを始めた大石さん、その後には四輪やレーシングカートも始め、ますます乗り物の世界に魅了されていった。仕事は実家の建築業を継いでいたが、頭の中でガレージの存在がどんどん大きくなっていった。

「自分が楽しく始めたガレージ作り、バイク乗りだったら誰もが欲しがらるでしょう。バイクとガレージが好きなら自分が作れば、きっとみんな喜んでくれるものが作れるって思ったんです。好きなことを仕事にして、さらにお客さんに感謝される。こんな幸せなことはないですよ。」

当時は「ガレージ」という言葉も一般的でなく「保管庫」と呼ばれていた時代。お金持ちが建てるビルトインガレージは庶民的ではなかった。そこで自分のガレージ作りのノウハウを元に、個人向けのバイク専用BOX型ガレージを設計した。大型バイクでも大丈夫なように、鉄骨による頑丈な骨組みや精度の高い床壁屋根といった基本的な仕様は今と変わらない。オーナーに長く楽しんでもらえるよう、ファクトリーで「種ずつ丁寧に製作し、自社トラックで運搬して設置まで行う。建築業で培った妥協のない物づくり精神は、きちんと垂直水平を出した各部の収まり精度の高さにも反映されていた。こうしてバイク用オーダーメイドガレージの先駆けとして誕生したダイナオガレージ、手に入れたオーナーからの感謝の言葉が何よりも嬉しかった。口コミによる評判の高さも話題となり、少しずつ知名度を上げていった。今では半年先までバックオーダーを抱えるほどの全国的なガレージブランドに成長した。

みんなをハッピーにする 夢のある空間を作り出す

今、大石さんが取り組んでいるのは、リアルな情景を再現した立体的な壁面ディスプレイ。花や緑を植えてガレージスペースを作ったり、本物の消火栓やガソリンポンプを設置して、自宅に居ながらにしてリアルなアメリカを実感できる空間を作っていく。

「今までのガレージは、お父さんだけが趣味を楽しむスペースというイメージが強かった。そんなガレージを家族全員が楽しめるスペースに変えたいと思っています。乗り物好きは、雑貨やアイテムをコレクションする人も多です。誰かに見ってもらいたいけど、せいせい壁に飾る程度。そんなアイテムをディスプレイに活用すれば、みんなに見てもらえる楽しい空間ができ、お子さんも喜んでくれる。植栽を植えることで奥さんも庭いじりが楽しめる。みんなが笑顔で過ごせる余裕ある空間を作りたいですね。」

実際に大石さんの自宅やショールームに作り上げられた空間は、遊び心にあふれ、みんなをハッピーにする力が感じられる。雑誌に取り上げられたことがきっかけで、茨城県では長さ20mもあるアメリカの通りを丸ごと再現したプロジェクトにも採用された。自身の楽しみから始まったガレージ作りが、多くの人生を豊かにする空間づくりへと確実に広がり始めている。ガレージについて語り出す話が尽きない。笑顔で語る大石さんが、一番のガレージ愛好家であることは間違いない。



JNCCやWEXといった国内エンデューロレースに年間十数戦エントリー。レース、ツーリング、トレーニングと一年中エンデューロの世界にとっぷりと浸かっている。

画像：JNCC提供



遠州の列伝

オフに嵌ったライダーが実現した夢のガレージハウス。

エンデューロエンスー「浜松市天竜区」栗屋俊輔



オフ車を購入すると、生来のエンスー魂に火が着いた。林道ツーリングだけでは飽き足らず、エンデューロ競技にも参加。いざ走ると、転倒してバイクを起すだけで体力を使い果たしてしまっただけ。それでも完走したあとは清々しい楽しさだけが残った。ジムカーナ時代に感じた充実感が蘇ってきた。技術を磨くためトップライダーの教室に参加したり、メンテも自分でやったりと、休みを全てエンデューロに捧げて、気が付くとレースへの参加が年間20戦を超えていた。

ガレージハウスとの出会い

アパート住まいの栗屋さんは、週末は駐車場、夜間は高速SAの街灯下といった屋外でメンテナンスを行っていた。ジムカーナ時代は現場でのタイヤ交換も当たり前、屋外作業も苦にならなかった。それでも「レースやイベントが2週連続すると、平日の夜でも整備したくなる。ガレージがあればいつでも整備できる自由が手に入るなあ」と思い、ガレージ付きアパートを探したが空き物件がなく、半ば諦めかけていた。しかしコロナ禍で考える時間が増えて、やりたいことを今やっつけて置かないと後悔すると思うようになり、デイトナハウスを展開するバランスデザインに相談した。賃貸より新築の方が月々の支払いを抑えられることも後押しして、今回の購入に至った。

「人と同じものが嫌なんです。だからガレージハウスを建てようと考えた時、バランスデザインのデイトナハウス一択でした。鉄骨の骨組みが剥き出しのところも好きで、何よりカッコいいでしょ。」
立地は林道や天竜川に近く、自分が思った時に愛車いじりができ、すぐに走りに行ける。100%満足できる自分の基地を手に入れた。

好きでいることが人生を前に進める

ガレージハウスの購入を機に、複数台所有していたバイクも整理。今はFANTIC XFE250Triが唯一の愛車。これも他の人と被らないこと、ナンバー付きでレースにも使えることが決めてだった。



屋上はDIYで芝生マットを敷き詰めた。将来的には、ワンちゃんが自由に走り回るドッグランスペースとして計画している。



天井部分のトラス組の梁もお気に入りポイント。観葉植物を吊り下げたり、スポットを設置したりと活用の自由度は幅広い。

今後の楽しみ方を聞くと「ガレージが出来たから、またレーサーを購入しよう」と、今は候補を絞っている最中です。それと、ペットのワンちゃんを飼いたいです。エンデューロとワンちゃんって相性がいいんですよ。トランポと一緒にレース場まで行って、休み時間にワンちゃんとパドックを散歩する人も多い。実はそのためのスペースも既に考えてあるんですよ(笑)。と実に楽しそうに話す。自分が好きな世界を追い続けることが、ポジティブな発想や行動につながっていると実感した。夢空間を手に入れたことで、栗屋さんのエンスー魂はますます加速していきそうだ。



ガレージハウスができたことで、新たなマシンの購入を検討しているという。バイクについて語るときの表情が実に楽しかった。



2階は12畳ワルームのリビングスペース。全面ウッドフロアと剥き出しの骨組みがスタイリッシュな空間を作り出す。

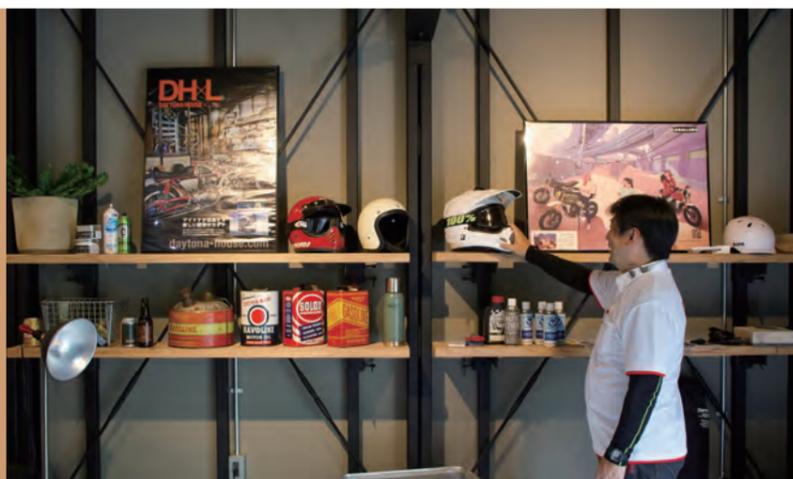
SHUNSUKE AWAYA



PROFILE

神奈川県出身。アマチュアながら全国各地で開催されるエンデューロレースに数多く参戦。メンテナンス、ツーリング、トレーニングなど、日々エンデューロ色の生活を謳歌している。

取材協力：
モータリスト合同会社 <https://motorists.jp/>
バランスデザイン株式会社 <https://www.balancedesign.jp/>



壁面は鉄骨のスパンを利用して自由に棚を設置できる。ヘルメットやケミカル類をディスプレイできる機能的な収納スペースは必要なものを一眼で確認できる。

エンデューロに魅せられて

オフロードとの接点は、培員人祭りでKTM125DUKEに試乗したとき。キスカデザインによる先鋭的な外観と、オンとオフを融合した世界観に魅了され、次第にオフロードへの興味が湧いた。CB1300での北海道ツーリング、砂利道を迂回したり、低速でひたすら我慢したり、重量のある車体も段々ストレスを感じていたから、オフロードへの乗り換えは自然な流れだった。KTMジャパンの社長だった野口氏(当時現モータリスト社代表)に誘われ、いなべて行われたエンデューロイベントも見学。そこでは「参加者には結構初級者も多くいて大苦戦されていたんです。このくらいなら自分にも出来るんじゃないかと勘違いしてしまいました。実は嵌まってからは同じように大苦戦してましたけど(笑)」

好きなことに、とことんのめり込む

天竜の山が近い静かな住宅街。ライダーなら誰もが憧れる、バイク4台が停められる広々としたガレージが主役の夢空間が広がっている。オーナーの栗屋さんは、年間20戦以上のエンデューロに参戦する生粋のエンスーリアスト。しかし、エンデューロデビューは40代の遅咲きだったと言っ。
バイクとの出会いは18歳のとき。大学進学と同時に自動車免許を取り、足代わりに原付を手に入れたが、最初に嵌ったのは四輪の世界。自動車部に所属し、GA2シテイでタートラやジムカーナといった競技に参加。社会人になっても、長野県のジムカーナ選手権で数度チャンピオンに輝くほどのめり込んだ。EK9シビックTYPE Rでも競技に参戦し、気がつくと30代を迎えていた。再びバイクに乗りだしたのは、通勤手段としてのカブがきつかけ。カブの魔改造に嵌り、ポアアップや車体など通りカスタムした。FTRではツーリングに嵌り、年間3万キロを走った。その後CB1300スーパーポルドルでは北海道へも旅したり、走行距離は16万キロにも「その頃は狂ったように、あちこち走り回っていましたね」と屈託のない笑顔を見せる。こうして好きな世界にのめり込んでいくエンスーの下地が作られていった。



D-UNIT



GRIPPY GRIP



MOTO SMART MONITOR



DOME ROOM TENT

WHAT'S NEW? DAYTONA PRODUCT

今年、創立50周年を迎え、次なる50年に向けて走り始めた(株)デイトナ。これからはライダーの「あったらいいね」に応えていくデイトナの圧倒的な商品群の中から、編集部がピックアップした4アイテムを、自身もライダーとしてとことん楽しんでいる開発スタッフに直撃取材。これからのライダーへ向けて、デイトナが提案する新たなバイクカスタマイズとは。



DHXL HAMAMATSU

DAYTONA HOUSE x LDK



骨を楽しみ、人生を楽しむ。

骨格はクルマやバイク、そして人間や建物にとって最も大事な要素だと言えます。だからデイトナハウスは骨格から開発を始めました。「家を支え、暮らしを支える。」その重要な役割を担うことを使命に設計された軽量鉄骨建築システム「LGS」。醸し出す存在感や質感は他のどんな建材とも異なります。デイトナハウスは家の骨格としてのメリットを「鉄」に見だし、これまでにない建物の在り方を創造しました。今までの建物像を覆す、まったく新しい建築のカタチです。



店舗型商品 「TYPE-S」

スチールサッシのシャープなグリッドが印象的な店舗型スケルトン商品「TYPE-S」。オールドモダンな外観イメージが、店舗内の商品やコンセプトを表出します。鉄骨のシンプルかつ重厚な素材感は、ディスプレイされる商品と相性抜群です。間口の広さや奥行きにより価格が算出されるシステムで、新しく店舗計画される方の強い味方になる商品です。

What's balance design?

遠州エリアでデイトナハウスの施工、運営するのがbalance design(バランスデザイン)です。「理想と現実」、「想いと想い」、「今と未来」という建物において、大切なバランスを常に考えながら、理想の空間を提案いたします。



balance design

バランスデザイン株式会社

〒433-8111 静岡県浜松市中区葵西5-23-23
TEL. 053-482-7415 / FAX. 053-482-7004
お問い合わせ専用ダイヤル 050-3066-8943
<https://www.balancedesign.jp/>



DOME ROOM TENT & DAYTONA OUTDOOR SUPPLY

登山歴9年、ツーリング歴5年のベテランキャンパーである森山さん。 Daytona初のオリジナルテントには、彼女のこだわりが存分に詰まっている。

「ドームルームテントでは、ソロツーリングでの『ちょうど良いサイズ感』を追求しました。私は登山では山岳テントを使用していますが、限られた使用条件を想定して高さも低く、より携帯性が重視されます。さまざまなテントを使用した経験をもとに、ドームルームテントでは男性が余裕を感じられるような室内高を設定し、同時にツーリングバッグにびったり納まるサイズとしました。オールシーズンで快適に過ごしてもらうために4箇所の換気を設置。前室はアシンメトリーにして、片側は荷物の収納スペースを確保しつつ、ライダーが出入りしやすい形状にしました。開発では最初に機能を全て詰め込んで、そこから引き算で必要な機能を残していきました。結果的に、これまで市場になかったライダーが欲しいテントに仕上がったと思います。」

「現在は次々と新しいキャンプ用品の企画を進めています。将来的にはさまざまなキャンプスタイルに対応できるように、Daytonaアウトドアサプライのラインアップを充実化させていく予定です。シンプルなタープとテントの組み合わせ、テーブル/パップテントなど、ライダーが自由に選べて楽しんで

もらえるようにしたいと思っています。また、これまでのキャンプ用品のリニューアルも考えています。機能性を高めながら、キャンプの雰囲気づくりも重視して、より気分の上がる商品を形にしていきます。」

「キャンプ用品は『コト提案型』の商品です。『これを使ったら、こんなキャンプができそう』とイメージできるような商品で、ライダーがもっとキャンプを楽しめるように考えていきます。」



ソロツーリングでちょうど良いサイズ感、
ベテランの経験を詰め込んだライダーテント。



アクセサリ電源ユニット D-UNIT

すべてのライダーが
求める必需品、
一括管理で
スマートに納める。

ETC・スマホ・アクションカムなど、近年のバイクカスタムには電源の取り出しが欠かせない。

「D-UNIT」は複数デバイスへの電力を一括でスマートに取り出せる電源ユニットだ。しかし商品化にあたっては社内でも賛否があったという。

「元々は弊社会長の『電源をスマートに取り出したい』という意見が開発のきっかけでした。私には商品化すれば売れるだろうという自信はありましたが、開発にあたって社内の意見は真つ二つに別れました。最終的には『電源を必要としているユーザーに届けたい』という私のわがまま(笑)で商品化させてもらいました。」

モーターサイクルショーでは大きな反響があり、初回出荷も記録的な数の発注をいただきました。比較的簡単な構造で、知識のあるユーザーなら自作も可能でしょう。ただ最近ではハーネスやヒューズなどのパーツ探しや選定が大変になっており、ベテランユーザーからも支持を受けています。今では社内でも認められ、商品化して良かったとほっと胸を撫で下ろしているところです。」

「今のカスタムは電源の確保から始まると言っても過言ではありません。カスタムを始めたいという方は、ぜひ最初に電源ユニットを購入して欲しいと思います。そうすれば後で追加の必要もなく、カスタムの自由度が高まりますよ。」

現在は防水モデルのWRや常時電源に対応したモデルもラインアップ。デバイスの規格は日々進化と更新が続いている。大澤さんは「他の業界から『なぜバイクだけ最新製品に対応していないの?』とは言われたくない」という信念の元、開発の歩みを止めることはない。



リプレイスグループ **大澤英世**

ライダーに優しい
最新の便利さ。
未来のスマホホルダーは、
このカタチになる。



MOTO SMART MONITOR

『MOTO SMART MONITOR』は、2022年モーターサイクルショーに参考出品し、ライダーの注目を集めた話題の商品だ。来春の発売に向けて、開発は最終段階を迎えている。

担当の寺沢さんは社内でも屈指の音響マニア。本商品ではUI(ユーザーインターフェイス)の作り込みに腐心している。

「このモニターはスマホやインカムを接続して、走行中にナビや音楽など様々なアプリを利用できます。開発にあたっては「シンプルで分かりやすい」ことを最優先しました。どんなに多機能にしても、使いこなせなかったら意味がありません。使いたい機能に素早くアクセスできるよう、アイコンの配置などを何度もシミュレーションして、最終的に満足のいく操作性を確保できました。」

クルマの世界では標準になりつつあるApple CarPlayやAndroid Auto™に対応。バイクアクセサリとして画期的な商品で、多くのライダーが期待を寄せている。

「スマホカメラの高性能化が進んだ現在、バイクの振動は大きなネックです。現在はホルダーで取り付けるのが一般的ですが、このモニターならワイヤレス接続で故障の心配がなくなります。バックカメラも使い勝手がよく、

全てのライダーにオススメしたいぐらいです。」

「イコライザー機能は、インカムの音声を好みの音質にカスタマイズできます。中高年ライダーには会話が聞きやすくなる点も大きなメリットでしょう。ライダーに優しい機能を搭載しつつ、見た目はカッコいいスタイリッシュな外観に仕上げました。」

「バイクは楽しい乗り物だと思います。不便な思いをして楽しみを半減しないよう、この商品では「最新の便利さ」を体感して欲しいです。将来的にはスマホホルダーに変わる新しいカタチだと思います。」



ツーリンググループ
寺沢長紘

■ Apple CarPlayは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。 ■ Android™、Android Auto™はGoogle LLCの商標です。

カスタムグループ
大場智也

GRIPPY GRIP

ライディングで、ライダーが必ず眼にするハンドルまわり。中でもグリップは、常にライダーが触れるバイクとの重要な接点だ。

デイトナ『GRIPPY GRIP』は「握りやすく、滑らないグリップ感」を重視して開発された。

「素材のエラストマーは成形の自由度が高く、理想の形状を追及しました。この『GG-D-TAPERD』は内側に向かって細くなるテーパ形状で、力を入れやすい内側の3本指で自然に握りやすくしています。適度な柔らかさが振動を吸収し、指先もかかりやすいので、ツーリングで疲れにくく、確実な操作を可能にします。」

「色のついた部分を僅かに凹ませてグリップ感を向上させています。さらに試作では滑らかだった凹部にシボ加工を追加して、落ち着いた色味となり全体の質感を高めました。自然な握りと滑りにくさを両立させた良いグリップができた



と思います。」

こうした細かな改良の積み重ねが、使いやすさと商品の質を高めている。

「GRIPPY GRIPはヨーロッパに輸出もしていますが、海外では刀の柄のような『GG-D-KATANA』などの分かりやすいデザインが好評です。グリップは手軽に交換でき、変えた時の満足度が高いパーツなので、ぜひ遊び心を持ってデザインの面でのカスタムも楽しんで欲しいと思います。」

今後はクルーザーモデルに向けた商品を開発中と伺った。ライダーのカスタム心をくすぐるGRIPPY GRIPの新たなモデル展開に期待が高まる。

ライダーが
常に触れる部分だから、
ここが自分流
カスタムの出発点。



進化し続ける、クシタニのモノづくり。



日本で初めてレーシングスーツの先駆けとして誕生したクシタニレザースーツ。世界日本のトップライダーから絶大な信頼を受けてきたクシタニのモノづくりの原点である。時代毎にパターンやパーツは進化を続け、現在はMotoGP/Moto2クラス、全日本、鈴鹿8耐のプロフェッショナルをはじめ、バイクを愛するライダーの安全を守り続けている。そのヒストリーを知る製造部・南氏に語っていただいた。

昨年新たにオープンしたクシタニ浜松本店。店舗を入って左手の通路左右にスポットライトに照らされたガラスケースが並んでいる。ケース内には歴代契約ライダーのレーシングスーツが整然とディスプレイされる。最初に目に入ってくるのは、現役で活躍する小椋選手のスーツ。そこから2000年代にかけての比較的新しい時代のスーツが並び、ディスプレイは奥に行くに従って年代を遡っていき、世界GP時代〜1970年代までのレジェンドライダーのスーツが飾られ、さらに奥には創業当時の楠谷商店を再現したエリアへと至る。さながらタイムトンネルのようなこの空間でクシタニのレーシングスーツヒストリーを時代を辿りながら体験できる。

ライダーとの信頼関係を築くこと。

南氏が記憶に残るライダーとしてあげてくれたのは、小椋選手が所属するイデミツホンタニチームアジアの青山博一監督。世界GP参戦を一区切りしてテストライダーに就任したタイミングでクシタニとの関係がスタートした。「私たちの仕事はレーシングスーツを作って終わりではありません。ライダーが着て走り、評価した点を改良してまたテストする。その繰り返しです。青山選手の場合、自分が感じたことの細部に至るまで、私たちに分かるよう丁寧に表現してくれたのが印象的です。テストはマシン開発の最前線ですが、それを有効に活用しようという彼からの提案で、用品の開発に協力いただきました。青山



レジェンドたちの貴重なレーシングスーツが並ぶ。一番手前がリック・ア部典史選手。奥にはマモラ選手やガードナー選手のスーツも。

レジェンドライダーとともに。

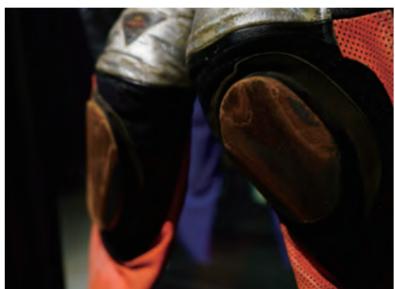
選手からは「こういう仕様にしたらこんなメリットがあるよ」という独自の提案もいただきました。彼のような経験豊富で現役でも活躍するライダーから得られる旬の情報はとても貴重でした。いろいろなライダーが着用するスーツ開発において、特定ライダーの意見のみを尊重するのは危険です。最終的な仕様の決定に関してはメーカーが判断を下さなければいけません。それでも青山選手とは細部に至る点まで対話を重ねることにより、良い信頼関係を築くことができましたと思います。そこで得られたものは確実にクシタニのレーシングスーツにDNAとして組み込まれています。」

選手からは「こういう仕様にしたらこんなメリットがあるよ」という独自の提案もいただきました。彼のような経験豊富で現役でも活躍するライダーから得られる旬の情報はとても貴重でした。いろいろなライダーが着用するスーツ開発において、特定ライダーの意見のみを尊重するのは危険です。最終的な仕様の決定に関してはメーカーが判断を下さなければいけません。それでも青山選手とは細部に至る点まで対話を重ねることにより、良い信頼関係を築くことができましたと思います。そこで得られたものは確実にクシタニのレーシングスーツにDNAとして組み込まれています。」

最新技術に老舗が挑む。

入社から30年以上の間、レーシングスーツ製作に携わってきた南氏に展示されているスーツについて解説いただいた。

現在Moto2クラスでチャンピオン争いをする小椋選手。クシタニはスハインCEV選手権時代から小椋選手をサポートしている。MotoGPは2018年から全クラスがエアバッグ装着を義務化。小椋選手がMoto3に参戦するにあたり、クシタニは初めてエアバッグシステムの装着に取り組んだ。「レースが進化する過程で、ライダーのエアバッグ装着は数年前から既定路線でした。クシタニも国内テストでエアバッグ装着スーツのテスト評価をしていきましたが、小椋選手のスーツが初めての実戦投入となりました。装着にあたってはスーツの機能性や安全性を損なわず、エアバッグの膨張スペースを確保する必要があります。それぞれミリ単位でパーツ設計を行い、試作を重ねて完成させました。実際にライダーが着用してOKのコメントをもらうまで、ずっと気の抜けない時間が続きましたが、新たな挑戦の一步を踏み出せたのだと思います。」



当時のニスライダーは革製。多層の革を接着して厚みを作っている。

「ライダーは一人一人こだわりの部分が多いです。ガードナー選手は自分でインナープロテクターを用意しており、スーツの内側にプロテクターを装着するポケットを作りました。当時から怪我から身体を守る意識が高かったのだと思います。マモラ選手のスーツは対照的に、内側にプロテクター類を一切入れていません。彼からは、肩部分に立体感を出して欲しいと希望があり、追加のステッチを入れてリクエエに答えました。外から見られたときのイメージに拘ったのだと思います。基本的な安全性を満たした上でプロライダーからの様々な希望に応えることで、クシタニのスーツづくりにおけるノウハウが増えていったように思います。」



クシタニ製造部 南 孝氏
レース観戦が好きで、レースに携わりたいとの思いからクシタニに入社。契約ライダーのスーツ製作やレーシングサービス等を担当し、選手との綿密なやりとりを参考に、クシタニのスーツ開発を担っている。



クラフトマンの手で一点ずつハンドメイドされるレザースーツ。設備を一新して更なる技術の向上を図る。

レース現場での開発が市販モデルに直結する。

クシタニの現在のフラッグシップモデルNEXUS2。安全性、運動性、快適性を追求した新パターンはライディングの自由度をより高め、まさにライダーにとって「第2の皮膚」。高強度のサイロニット、フッ素を浸透させた低吸水性のフロントヨレザという最高の素材は、着用した瞬間からしなやかなフィット性を感じられる。「レーシングスーツはバイクの進化とともに常に最高の性能を求められます。ライダーの身体を守る安全性は基本ですが、同時に現代のライディングスタイルに合わせた身体の動きを妨げてもいけません。さらに生産性の高さも求められます。さまざまな要求を高次元でバランスさせて製品に落とし込む。そこにはレースの現場でライダーとともに開発してきたクシタニの豊富な経験が、惜しみなく投入されています。」



クシタニの最新トップモデルNEXUS2。プロテクション性と運動性能を高次元で両立している。

モノづくりの原点を忘れない。

クシタニのレーシングスーツ製作の現場は、各工程を分業して担当する。最初に各パーツの元となるパターン（型紙）製作。素材となる革に対し、どの部分をどのパーツに使用するかを位置決めする「型乗せ」工程。型乗せされた革からパーツを切り出す「裁断」工程。パーツが重なる部分の革の厚さを削って調整する革漣き工程。シャイリングやプリント、ネームを作る工程。各パーツを縫い合わせて仕上げる縫製作業。着のレーシングスーツができるまでには細かなパーツ製作を含め、多くの工程が存在する。多くのクラフトマンが製作に携わり、さまざまな手を経て、ようやく着のスーツが完成する。南氏はパターン製作からスタートし、裁断を経験。その後、プロライダーのレーシングスーツの製作メンテナンス開発へと進んでいく。その過程で



サイモン・クラフターモデル。レッドブルの眼と耳は別の革を上から縫製している。クラフトマンの技が細部に宿っている。

は短納期に対応するために縫製も覚え、気がつくとき全ての工程を一人で行う技術を身につけた。「革という素材は一度針を入れると穴が空いて、やり直しが効きません。最初に縫製をする時は、それが怖かったのを憶えています。縫製ではミシンの針を自分の思ったところで止めることができ、曲線や角にも対応できるようにになると、ようやく恐怖心がなく製作に集中できるようになりました。」



豪州FM局がスポンサーのガードナーモデル。「STEREO」の表記が時代を感じさせる。



We create the safety world.

www.kushitani.co.jp





家庭用の100V電源から車体の給電口にコンセントを繋ぐだけで充電ができる。

燃料である電気の充電は、家庭用の100V電源のコンセントから充電できる。または専用のソーラーパネルでの充電も可能。家庭用コンセントからの充電で約8時間、太陽光のみのソーラーパネルからの充電だと延べ約24時間で満充電となる。満充電の状態であれば、冷暖房装置の稼働やストップアンドゴーの負荷を考慮しても、約50キロは走行可能となる。

家庭用コンセント、ソーラーパネルから充電が可能

特許技術を活かした装置で鉛バッテリーの長寿命を実現

NINAは、早くからEVについての研究をしてきた、愛媛大学客員教授・佐藤員暢氏との知見共有により開発した、電極のサルフェーション除去装置を搭載している。それによって性能低下を防ぎ、鉛バッテリーでありながら通常の3倍以上の寿命を実現している。約800回の充放電で半分に性能低下するところを、約2500回にまで飛躍的に寿命を延長。約10年はバッテリー交換が不要となり、ランニングコストの軽減に貢献している。

非常時には電源車として電力を供給

NINAの特筆すべき特徴は、台風や地震などの自然災害で電力供給がストップしても蓄電された電気を家庭に供給できること。搭載電池の電力量は5.76kWhで、照明や冷蔵庫、テレビ、電子レンジなどを稼働でき、節電しながら使用すれば2日〜3日程度の供給が可能となる。ソーラーパネルで充電できれば、稼働時間はさらに延長できる。自走して孤立地域への支援に向かうことも可能だ。



オプションの車体天井部のソーラーパネルと折り畳み式のソーラーパネル。

また非常時だけでなく、屋外イベントの電源車や、小さくても目立つ可愛いスタイリングから、企業および商店のPR車にもなり、観光地の移動車両などさまざまな可能性を持っている。街中を颯爽と走るコミュニーターとして、若い世代から高齢者までの新しい足として、環境に配慮した安心で安全な車として、SDGs推進の面でも価値があると言えるだろう。ただ電気では走るだけじゃない、ただ小さいだけじゃないNINA。次の時代の、いや、今必要な新しい乗り物として注目すべき存在だ。



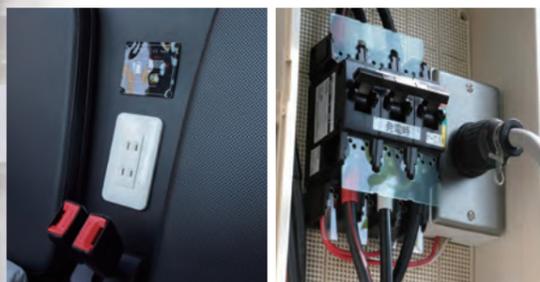
カワイイのに、いざとなったら頼りになる 新しい街のコミュニーター

1人乗り超小型EV

NINA

New Innovation Next Automobile

<ニーナ>



NINA車内の非常電源機能と、非常時に家庭に電力を供給するための配電盤。

販売価格 (2022年9月現在 / 保険・登録諸費用は別途)

- 車両のみ 1,430,000円(税込)
家庭の電源からの充電ケーブルなど走行に必要な備品付属。
- フルオプション 2,530,000円(税込)
EV用ソーラーパネル充電機器、および災害時や停電を想定した給電機能一式を含みます。

問い合わせ

トータルサインと防災・防犯・環境を創造する
株式会社サインクリエイト
経営革新計画承認企業

〒430-0846 静岡県浜松市南区白羽町2495-3
TEL:053-442-6011 FAX:053-442-5740
<受付時間>9:00~18:00 <休日>土曜・日曜・祝日



諸元

車両サイズ	全長2,170mm 全幅1,160mm 全高1,560mm
車両重量	585kg
乗車定員	1名
車体色	ブルー、レッドなど8色から選択可能
最高速度	60km/h
出力	0.59kw
走行可能距離	満充電で約60~80km(走行条件により異なります)
搭載電池電力量	5.76kwh

特許

電極のサルフェーション除去装置 (特許番号: 第5096538号)
※愛媛大学佐藤員暢氏との知見共有による。

ランニングコスト(年間維持費)比較

	軽自動車	NINA
燃料費	約100,000円(ガソリン代)	約10,000円(電気代)
自動車税	約8,000円	2,500円
重量税	約5,000円	0円
自賠責保険	約14,000円	約3,000円
任意保険	約60,000円	約8,000円
車検費用	約30,000円	0円
オイル交換費	約5,000円	約15,000円(バッテリー交換10年/1回)
合計	約220,000円	約38,500円

1年間で約183,500円の維持費の削減になります。
※年間走行距離を10,000kmとした場合の概算です。

新しい近距離の移動手段
車の乗り方改革

NINA(ニーナ)は太陽光を利用した防災防犯灯や看板制作を手がける「株」サインクリエイトが開発した超小型EV。中国製小型EVをベースに、独自の蓄電技術を搭載したハンドメイドのカスタムカーだ。

原付(ミニカー)区分の登録となるため、車庫証明や車検は不要。乗車定員は1名となるが、制限速度は60キロ以内で、二段階右折の必要も無い。自動車税、自賠責保険も原付同様と安価で、セカンドカーとしてなら任意保険のファミリーバイク特約が利用できる。

高速道路に乗れない、長距離は走れない、スピードも出ないというデメリットはあるが、裏を返せば近距離の安全で経済的な新しい移動手段としての適性が、そこにあるのではないだろうか。

実際、通勤や近距離の移動では1人で車に乗ることが多い。雨風がしのげて冷暖房付き、そのうえ小回りが効いて省スペースとなれば、街中のコミュニーターとして面白い存在になるはずだ。



SKC しんしろカートコース
 バイク、ミニバイク、ポケバイ、レーシングカート、レンタルカート、ゴーカートサーキット
 ● 初心者、未成年、無免許練習も歓迎。● ライセンス不要、会員制度はありません。

〒441-1338 愛知県新城市一鉄田(ひとくわだ)字赤座入55
 東名三ヶ日インターチェンジより約20分。新東名新城インターチェンジより約20分。
 営業時間：午前の部：9:00-12:00 午後の部：12:00-17:00
 定休日：毎週木曜日(ご予約、貸切走行は受け付けます)
 TEL: 0536-29-4458

 <https://www.facebook.com/j4126>

遠州の銘品

株式会社山下工業研究所
 Z-EALシリーズソケットレンチ



日本が世界に誇る高品質ソケットレンチが、遠州で作られているのをご存知だろうか。1946年に掛川市で創業した(株)山下工業研究所。ソケットレンチ専門メーカーとして世界的なシェアを誇り、豊富なバリエーションは他を圧倒する。Ko-kenブランドのソケットは、面接触によりボルト、ナットを確実に保持、優れたトルク伝達性が世界のメカニックから絶大な支持を受けている。Z-EALシリーズのラチェットハンドルは、Ko-ken がこだわる「ラチェット動作の軽さ」を極限まで追求した新たなラチェット機構を採用し、そのスムーズな操作感とは異次元の滑らかさ。ソケットレンチを製造して76年にわたるノウハウと情熱が、この製品に結実している。

株式会社山下工業研究所
 掛川市中央656番地
<https://www.koken-tool.co.jp/>

ラチェットハンドル 3725Z ¥6,950 2725Z ¥6,420

EVENT

駅から10分。
新しい景色を体験するシーカヤックツアー



シーカヤックに乗ったことがありますか？水面を滑るように進む感覚は爽快で、水の上からは今までと違った景色を見せてくれる。今回は浜松を流れる馬込川、芳川の合流地点にあたる、遠州灘中田島サンクチュアリを中心にツアー。浜松駅から車で10分とは思えない豊かな自然を体験。ツアーガイドは、シーカヤックで日本沿岸を1周、手漕ぎ丸木舟で台湾から与那国島まで48時間の航行など、豊富な経験と知識を持つ鈴木克章氏。きっと新しい景色を見せてくれること間違いなし。

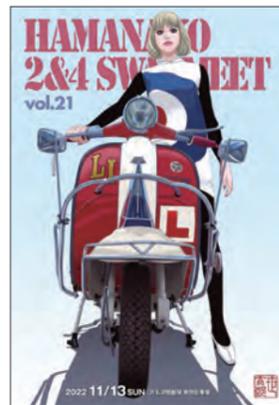


ツアー日時:11月6日(日)
9:30 集合~10:00 ツアースタート~砂浜上陸・昼食~14:00 終了
定員は6名のみ。申込み順となります。
天候状況を鑑み中止になる場合があります。
ツアー料金:大人13,000円 子ども10,000円(税・保険込み)
昼食代は含まれておりません。 中学生から大人料金となります。

申込み・お問合せ:浜名湖パドル 代表 鈴木克章
beachplant.project@gmail.com
TEL.090-5620-1961
<https://hamanako-st.com/>

SWAP MEET

「HAMANAKO 2&4 SWAP MEET」
3年ぶりの開催が決定!



300を超える出店数を誇り、多くのエンthusiastsが集まる、バイクと車の部品交換会「浜名湖2&4スワップミート」が3年ぶりに開催決定。旧車用パーツを探すもよし、掘り出し物を見つけるもよし、乗り物好きなら必見のイベント。石油発動機運転会、フードブース、バンド演奏などイベントも充実。テーマ車両の「集まれ!イタリアンスクーター」も要注目だ。

開催日時:2022年11月13日(日) 朝5時~昼12時まで
会場:浜名湖競艇場 東側駐車場(対岸駐車場)
静岡県湖西市新居町中之郷3727-7
主催:浜名湖2&4スワップミート実行委員会
TEL.090-4163-8115
<https://hamanakosm.hamazo.tv>

MUSIC

音を“見る”体験型デジタルインスタレーション
「MUSIC EMOTION」
JR浜松駅新幹線コンコース小展示場にて



JR浜松駅新幹線コンコース内に設置された小展示場、7月にリニューアルされた河合楽器のブースでは、Shigeru KawaiグランドピアノSK-3の音色に合わせて、背面にある大型ディスプレイに表示された約9万個の粒子が、まるで音の波のように動き、ディスプレイいっぱい美しい模様を描き出す。タッチの強弱も粒子の動きによって表現され、音を可視化。ピアノは誰でも自由に触られるので、新幹線利用の際に自分の音をその目で確かめてみてはいかが。他にも“音を感じる”をテーマに「響板スピーカーシステム」、「カワイミニピアノ」も展示されている。

展示予定:2023年6月30日まで ※期間満了前に展示終了する場合があります。

株式会社河合楽器製作所
浜松市中区寺島町200
TEL.053-457-1213
<https://www.kawai.co.jp/>

CLASSIC CIRCUIT

スロットカーレーシングを楽しめる
希少な本格的サーキット



バイクやクルマに関するアンティークグッズを中心に扱う「アンティーク カミヤ倉庫」。6ヶ月かけてスロットカーのサーキットを製作。コースは当時のものを手に入れてレストア調整したもの。メインスタンドやピットなどの模型で60年代の本物のサーキットの雰囲気を再現。体験車両も用意されているので、初心者の方も大歓迎のこと。スロットカーを作る楽しみ、そして走らせる愉しみ。「今後、世代を超えたコミュニケーションの場になれば」とオーナーの神谷さんは夢を語ってくれた。

コース使用料金
大人:300円/15分 15歳以下:200円/15分

浜松市南区中田島町757
営業日:土、日、月曜日
営業時間:13:00~18:00(土曜日は20:00)
TEL.090-4797-4754



魂を受け継ぐ
「^{アート}藝」と「^{わざ}術」の先に――。

世界遺産サグラダファミリア スペイン、バルセロナ
建築家アントニオガウディが生涯をかけて取り組んだ未完の大聖堂。1882年の着工以来、各時代の建築家がガウディの設計構想を受け継ぎ、今も造り続けられている。

世界一の塔は限りなく天を目指し
森羅万象を映し出す
人知を超える自然の素材をもとに
未来の姿を思い描きながら
緻密に創り出される造形は美しい
朝焼けの雲をわけ、光射すとき
平和と幸福を願う鐘が鳴り始める
技の限界に挑戦し、進化し続ける先に
ガウディが追い求めた志と呼応する
河合滋が目指した高い精神性と
世界一の音色が響く未来がある



SHIGERU KAWAI
GRAND PIANO



本を通じて「バイクと共に生きる豊かな人生」を提案したい

武田宗徳



子どものころ夢中になった漫画や小説・映画に影響されて、バイクに乗るようになった人がたくさんいます。『物語』には、人の心を揺り動かす力があります。まだ人間が文字で記録することができなかった大昔から現在まで、『物語』は様々な形で人々を熱狂させてきました。

オートバイの魅力を一言で表現することはできません。そこには様々な種類の楽しみ方や良さがあるからです。しかし『物語』なら、その魅力をうまく伝えられるのではないかと。そんな思いから活動を始めました。

私はバイクの登場する漫画や小説などを扱うオートバイ専門の書店を運営しています。実店舗はなく、ネットショップと

イベント出店で販売しています。また私自身も執筆家として、オートバイに関する小説やコラムを雑誌に掲載してもらっています。

便利な乗り物ではないし、快適でもありません。荷物は乗らないし、人もたくさん乗せられません。風雨にさらされ、暑さ・寒さにも耐えなければなりません。それでもオートバイは多くの人たちを夢中にさせています。

『楽しいから。』ライダーは、ただそれだけで乗り続けます。人生には『楽しい時間』が必要です。睡眠や食事の時間、生活の糧を得るために働く時間と同じレベルで、バランスよく必要だと思うのです。

楽しい時間が、ほんの少し人生を豊かにしてくれる。そう信じて、これからもオートバイの魅力を伝えていきます。エンジョイライフ、エンジョイバイク。

武田宗徳

静岡県藤枝市在住
バイク専門店「オートバイブックス」を主宰。
二輪誌MotoNaviiにエッセイ「オートバイから見る景色」を連載中。
著書にバイク小説短編集「Riders Storyシリーズ」がある。
公式web site <https://autobikebooks.wixsite.com/story>



イラスト：わたたくたくみ

五十年後のバイクの在り方を想像してみようと思う。「二つの予測として、時代はますますヴァーチャル化が進展すると仮定しての話。実際、生活も仕事も娯楽も、ほぼ全てが賄えてしまうのも時間の問題という現状。バイクのライティング体験ですらヴァーチャル上で世界各国どんな場所でも限りなくリアルに再現できるようになるだろう。人間関係や通動、買い物など、リアルであれば色々面倒な場面は多いので、極力避けたいところ。そのメリットは大変大きいと感じる。勿論リアルが意味を為さなくなる危険性も大きいのだが。ただし、技術発展とは対照的に人間そのものの営みや身体感覚としては退化していくことは否めない。だがどうも考えられる。趣味性の高いものであれば、リアルで

未来のバイクってどんな存在？

庄田祐一

も生き残りやすいはずだと。バイクはその代

表格とも言えるのではないだろうか。これだけ技術が進んでもヴァーチャルでは到底及ばないリアルの魅力に触れたい人が増えるかもしれない。「移動という楽しみ」、そこにバイクが生き残る可能性を感じている。実体験として得られる物事への好奇心は未来人だとしてもそう簡単に抑えられるものではないと信じている。

五十年後には倒れないバイクや完全自動運転などによって、ますます誰でもバイクに乗れるようになることは容易に想像できる。僕が楽しみにするのは、高度なAIが搭載されたバイクの誕生。人とバイクが密にコミュニケーションのとれる時代の到来を期待している。

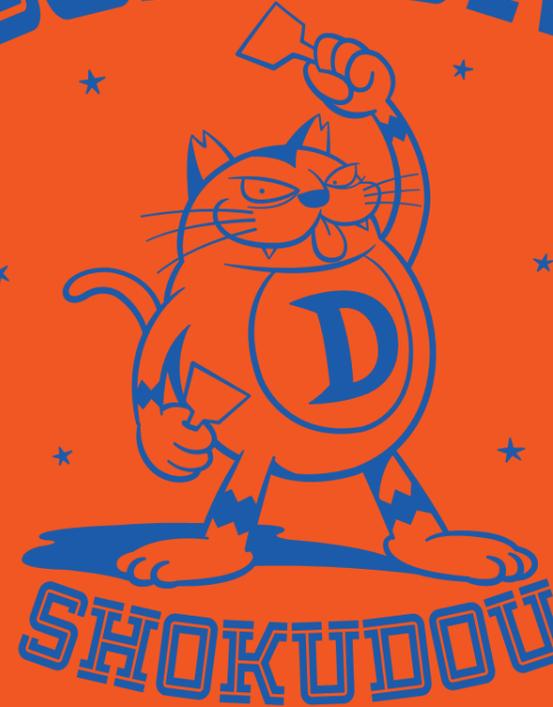
このように、ヴァーチャルとリアルが上手に共存できる未来を普段から想像しつつ、自身はアナログな本屋を営んでいるという不思議。本屋体験もリアルならではの魅力だと信じて。



本と、珈琲と、ときどきバイク。

庄田祐一
掛川市にて「バイクと出逢うための本屋」をコンセプトにした小さな書店「本と、珈琲と、ときどきバイク」をオープン。店主独自の視点から選書したユニークな本が書架に並ぶ。
HP <https://enrich-moto.com/>
twitter https://twitter.com/ENRICH_BY_MOTO

DONGURI



おこのみ焼き・焼きそば・ナポリタン
たません・おうちカレー・シフォンケーキ
営業時間：あさ10：00～日没まで
定休日：火曜日・水曜日
住所：浜松市中田島町1023-1
電話：090-3387-2525

★お持ち帰りできます★



facebook.com/tomoco.nomata
instagram.com/tomocomichi



SAILOR JERRY
LUCKY 13
RATFINK
MOONEYEYES
TIKI MUG
RNR Tee
COLLECTABLE
AND
SILLY TOY

MUMBLES
www.mumbles.jp

... AND ALL THAT
GROOVY STUFF EXCITMENT!!

FACEBOOK.COM/MUMBLES.JP
INSTAGRAM.COM/MUMBLES.JP



MUMBLES



WOWSVILLE



乗り物と素材とそのほかの話 Vol.6

最近ハマってるルート

店舗をGSビル北側に移転しました。以前の場所には新しい仲間のGSジムが入っています。当店は一本北の道沿いになります。



山本 雄一郎

やまもと ゆういちろう・1985年生まれ・大手発動機メーカー勤務後、老舗自転車店にて修行。その後独立し、現在は自転車店「Green Cog」店主。バイクも大好きで最近XSR155を購入。

エンジンジャーナリスト読者の皆様こんにちは。南区の自転車屋です。前号でリターンライダーになった事を懺悔致しました。最近では自転車と共に活躍してきています。元々はキャンプツーリング等に活用しようとしてカスマイズしていましたが、中々泊まりの時間が取れず、悲しいかなソロキャンプに行く機会がすっかり減ってしまいました。そこで気軽に日帰りでツーリングを満喫できるコースを模索しているうちに定番になったコースがあるのでご紹介いたします。遠州東三河地域には立派な「ダム」が沢山ありますよね。ダムは環境負荷や住居等移転の問題など、マイナスイ面も多々ありますが、洪水調節、流水の正常な機能の維持、農業・工業・水道用水、そして発電と、我々の生活に密着したインフラのひとつでもあります。大人の社会見学を兼ねて、バイクでサクッと観られるのは魅力です。天竜川水系には国道152号線沿いに船明(ふなぎら)ダム、秋葉ダムがあり、その先の支流水窪川には水窪ダム、本流に戻ると佐久間ダムという見応えたっぷりな日本でも屈指の巨大なダムがあります。佐久間ダムまで行ったら、一部開通している三遠南信自動車道で豊川水系の大島ダム、宇連



(つれ)ダムを経由して都田川水系の都田川ダムへ回るルートがオススメ。大島ダムは可動式のゲートのない「自然越流式」という洪水吐きなので、雨上がればどしゃ降りと自然放流されている可能性が高く、放流をご覧になりたい方にはオススメです。



時間と航続距離に余裕があれば、国道151号(愛知県道428号)で新豊根ダムまで行くと、堤高116.5mの立派な「アーチ式ダム」を観られます。お天気山経由で太田川水系の太田川ダムも、バイク乗りには定番ルートかもしれませんね！ダムは堤体の形式や高さ、ゲートの構造などが個性的で観て飽きませんし、何より山奥にある事が多いですから、道中のワインディングを気持ちよく流していきける特典付きです。最近では愛知県北設楽郡設楽町に「設楽ダム」が新たに建設中です。この工事現場へ進捗を見に行くのも楽しそうです。山の中の巨大インフラを気軽に訪れるのにも、バイクはとっても楽しく、便利なんだなあとつくづく感じています。これをお読みいただいた読者の皆様、是非チャレンジしてみてください！

樽林の日常写飯

～熱いものは熱いうちにf8～ Vol.6

白すぎてたまに目が回る



樽林 武俊

くればやし たけし・フォトグラファー・1980年生まれ。実家は父の代からの町の写真屋さんで、幼少の頃からカメラを玩具代わりに育つ。お仕事とは別にライフワークとして「毎日(というほどでもない)ポートレート」を撮り続けている。

「だっだっ広い、やたら白い、わけわからん機材が棚にスラリと並んでる」感じがなります。では、僕のスタジオはどうでしょう。「やたら白い、衣装はないが変なサンングラスがある、短パンのカメラマン、黄色い宇宙人のオブジェがある。」……何の施設だよ！誰かの悪夢を具現化したんか!? いいえ、紛れもなく写真スタジオなのです。写真館と商業写真スタジオを足して2で割って寸胴で蒸発するまで煮込んだスタジオ。それが僕の根城であります『Wonderful Photo Studio』なんです。撮影のご依頼も8割がフォーマルな撮影ですが、商業だろうが一般の方だろうが老若男女ここに踏み込んだが最後、うっすら脳汗をかくこと請け合いです。とにかく白すぎて目が回ることもありますが、それも込みで楽しんでいただけたら幸いです。一度ぜひ遊びにいらして下さいまし。手ぶらでいいからね！お土産とかいいからね！

お疲れ様です。いつも大変お世話になっております。さて、皆さんは「写真スタジオ」と聞いてどんなものが脳裏に浮かびますか？若い方であれば「衣装がバカみたいに並んでる、背景が色々ある、元氣なお姉さんがノールックで撮影する」でしょうか。ベテランの方ですと「年季の入った照明たち、浅いニット帽を被った初老のカメラマン、日焼けした店頭の家族写真」かしら。一般の方からしますと、こういうザ・写真館が「写真スタジオ」のイメージになるかと思えます。



これが「商業用の」写真スタジオになると全く違うものになるんですよ。どのくらい違うかというところ、ライオンと卵とじょうどんくらい違います。

Good Day Sunshiners

最近思った事、ずっと思ってる事。Vol.6

心もお腹も満たされるミニマムツーリング



芳松 鎮

よしまつ おさむ・1973年製・2016年12月、超思い切って脱サラし浜松市南区にGSバーガーを開業。金のかかる趣味ばかりで、結婚してからは仙人のような生活をしております。

エンジンジャーナリストの読者の皆様こんにちは。浜松でGSバーガーを経営しております。芳松と申します。今回はある日の原付ツーリングレポートをしたいと思います。自分には色々な趣味があります。が、仏像見学もそのうちのひとつ。仏教に特別に興味がある訳ではありませんが、日本が誇る最高の美術品としての仏像が大好きです。仏像と言うこの方は外せないビッグネーム。仏師として運慶・快慶がおります。定朝、康慶……色々と語りたい仏師がおりますが、こちらのス



※住職の特別な許可を得て撮影しました。

そんな松應寺周辺でランチを……と選んだのは、花街だった当時から営業されている、レストラン安兵衛さんです。今はピンチなお店ですが、当時の店内はこんなだったのかな？さぞ賑わっていたんだろうなあ。と想像しながらのランチ、最高でした。厨房にいたご年配のお姉さん2人で切り盛りしているのかな？めっちゃくちゃオススメのお店です。お腹も満たされたところで帰路へ。浜松から往復で160キロほど、原付で行くと大冒険のミニマムツーリングですねぜひ行ってみてください！

女はそれを我慢できない Vol.3

男子諸君妄想フレーズに惑わされるなよ!

GSビル2階に新店舗のドーナツ店「BUFFALO DONUTS」を開店しました。金・土の14:00~21:00の営業です。よろしくね!



岡本 直子

おかもと なおこ・デリシャスキッチン店主・1987年生まれ・浜松市内のイタリアンレストランの店長を経て、GSビル裏で定食屋を開業。趣味はカポエイラと特に汚れた靴をきれいに洗うこと。

「最近のこと、友人R(男子)の陥穽状態の想像力?妄想力?がハンター精神途轍も無い話話を聞いて、何気なく「酔っ払った男妄想」でググったら面白い記事を見つけたので、今回はそのお話について。きつと酒宴で一度は経験したことがある名場面集。リマインドしていきましょう！」



効果抜群。

思い返せば20代の頃、私も朝方まで呑み明かした日々は断片的にしか憶えておらず、未だべールに覆われたまま。きつといろんなことが起きていたんだろうに……。憶えていたステキな思い出も歳を重ねることにふたつみつつ、忘れてゆき……。今となっては楽しかったことが少々頭の片隅に残っているくらい。まあ人生それくらいがちょうどいいのかな。さて、ここからは検索で出てきた記事。

「元No.1キャバ嬢に学ぶ酔っ払った時にこそ使える妄想フレーズ4選」を参考に。あくまで女性目線で酔っ払った男性に対して自然体で「酔っ払った」。

女子は「私は過去にそんな思わせぶり言っていないわ!」とか、男子は「俺は酔っ払ってそんな妄想したことはない!」と思っかもしれませんが、あくまで自然体でのテクニックなお互い気づいていないだけかもしれません。なんせブランクアウトしている状態ですから。

EnshuSiaSt Comes Alive!

「バイクのふるさと浜松」もいくつかの困難を乗り越えて、遂にこの秋、浜松オートレース場にて復活することになりました。今年に入ってから、コロナ禍における考え方も少しずつ変化していき、モーターサイクルショーを筆頭に、多くのイベントが開催されているのは大変喜ばしいことです。レースシーンでも鈴鹿の8耐をはじめ、MotoGPやF1の日本グランプリも行われ、乗り物好きにはやっとな「日常」が戻ってきた気分です。個人的には特に今年の11月に開催される「浜名湖2&4スワップミート」の復活が嬉しいですね。こちららエンシュージヤストと同様、浜名湖というモーターミュージックシティをベースに行われる歴史のあるイベントで、夜明け前から熱心なエンズーが集う(ある意味近寄り難い?)様子は、観ているだけで楽しい。そう、やはりバイクと音楽って、ライブ感あってこそなんですよ。情報はネット経由で得られるものも多いですが、バイクは乗ってこそ、ギターも弾いてこそ、人も会ってこそ、本当の魅力が得られるものです。当エンシュージヤストもそんな



「ライブ感」を大事にして、それらのイベント開催を望むライダーの声がある限り、これからも、いつまでも続けていきたいと思っております。

山さん山川

エンシュージヤスト編集発行人。(有)キョウエスト クリエイティブ代表。スーパーカーとバイク、バンドブームの真っ只中で育った昭和40年男。愛車はトライアンフT100とオレンジ色の耕うん機。ヘルメットはArthur Fulmerを日替わりで。

無事名馬

6・7月と2ヶ月に渡り、足の怪我で長期入院～自宅静養しました。原因は恥ずかしながらバイクでの転倒でした。発進時にバランスを崩して転倒し、ステップに膝を強打したことから患部が炎症を起こし、自分の足とは思えないほどに腫れて、さらに40度の高熱と痛みに苦しみました。2度の手術と24時間の点滴管理の入院は人生で最長の療養期間でした。主治医の適切な処置のおかげで、現在は歩けるまでに回復したのですが…。療養期間はちょうど本誌の制作期間と重なり、編集スタッフはじめ多くの方にご心配と迷惑をかけました。日頃から「無事は名馬」を座右の銘にしていたのですが、後悔先に立たず。これも偏に自分の注意不足が原因と戒めとしていきます。さらにさまざまな面で助けていただいた周囲の人への感謝を忘れないこと。この2点を心に留めて今後活かしていくことが自分にできることではないかと思っております。趣味も人生もすべては自己責任です。今号で取材した平忠彦さんのコメント「バイクは遊び道具だから、安全で楽しく遊んで欲しい」。この言葉を今一度噛み締めながら、未長く趣味を楽しんでいきたいと思えます。



テキサス大沼

エンシュージヤスト編集長。20代よりシングル・ツインのバイクを乗り継いで、最近手に入れた89年製R100RSとともに、遠州の気なる場所に出没している。

Shall We Djenbe?

自分の趣味の一つに音楽活動がある。西アフリカの伝統的なリズムを演奏するアフリカンチームと、ブラジルのサンバチーム、そしてサザンオールスターズのコピーバンドでの演奏。かれこれ15年以上、仕事も家庭も子育てもしつつ活動している。自分が主催しているジャンベサークルに、過去何人もジャンベを習いにきた人がいたが、仕事や家庭の環境の変化とか、他の趣味に興味が移行したとか、はたまたこれじゃなかったと思ったのか、9割以上の人が辞めていっているのを目の当たりにすると、楽器を趣味にすることってハードルが高いのかなと思う時がある。言わずもがな、どんな楽器を趣味にするにしてもその楽器を演奏するためにはある程度の練習が必要で、突き詰めたら終わりが見えない。大切な時間とお金を使うのに値する趣味として楽器は成り立つのか?そんな事を思う側で、コロナ需要で楽器の販売が好調とニュースを見たりもすると、メジャー楽器が羨ましくも思う。アフリカンの世界はマイナーなだけに、全国各地に同じ趣味を持っているジャンベ叩きを知っているがなぜか女性が多い。世の男性は一体普段何をしているんだろうか?なんて情けない事だろう。つべこべ言わず男は黙ってジャンベを叩け!



ドン・サハラ

エンシュージヤスト デザイナー&エディター。西アフリカのジャンベとブラジルのサンバ、そして日本のサザンをライフワークにしている太鼓野郎。愛車はH-D XL883N。エンシュージヤスト特攻隊長として、重い体を引きつりながら西へ東へ突撃取材します。

六間道路に花束を

「えっ!あれRZ250じゃないか!」学校からの帰宅中、信号待ちで停まったバイクを見てひとり思わず声を上げた。国1から東海道に繋がる宮竹のT字の交差点。六間道路に向かう右折レーンに停まっていたそのバイクは、まだ雑誌にも噂や想像図しか掲載されていない新型のバイク「RZ250」に間違いなかった。信号が変わり、2サイクル特有の軽快な排気音を残し、仮ナンバーのRZは六間道路を西に向かっていった。おそらく市街地での実走行試験に六間道路を抜けて浜名湖方面にでも向かうルートがあったのだろう。同じ場所でY社の発売前の新型車をその後も度々目撃した。六間道路にまつわるバイク黎明期の話を文献で調べたり、先達たちにお話をうかがうたびに、RZを目撃した時の驚きと興奮が一瞬ビュンと頭をかすめる。その昔、試作車を持ち寄って競い合った道は、その後もバイクの開発に少なからず関わっていたのではないかと勝手に妄想が広がります。思えば自分が店長をしていたバイクショップも六間道路沿いにあった。バイクの進化と歩調を合わせるようにその姿を変え今も残る道。秋晴れの日、バイクで六間道路を走っていたら「浜松をバイクのふるさとにした道」にあらためて感謝の花束を贈りたい。そんな気分になった。



アジトイシヅカ

編集部内のマルチスライダー。デザインはもちろん文章からカメラ、イラストまで担当。FRP加工から革、銀、粘土など素材を問わずアナログなモノづくりが趣味。運慶を迎え、そろそろ終(つい)のバイクをあれこれ考える今日この頃。まだまだ現役。



協力：株式会社デイトナ

The EnshuSiaSt Magazineは記載のショップにて配布しています。

浜松市中央区

印度カレー mana	053-458-1773
オフィスヒット	053-489-3470
CUSTOM FEVER	053-455-6755
カフェレストランざぼん	053-441-9820
自家焙煎珈琲店 鴨江珈琲	053-571-2759
川島モーターズ本店	053-471-2543
川島モーターズ元浜店	053-478-0877
くれないじママ	053-473-7955
ざいまかなきぶん	053-416-4155
smoker planet	053-528-7077
Sonix	053-476-6688
Sol y Sombra	053-450-5770
タイラレーシング	053-437-2125
TSUBAKI AUDIO	053-471-8181
HighMeal	053-525-9552
バランスデザイン	053-482-7415
喫茶店ヒコウピラン	053-440-8008
Piste HAIR DESIGN	053-489-3336

PLATERO	053-456-2957
古橋商会	053-453-5985
PRECIOUS JUNK	053-455-5625
ヘアアトリエ・キートス	0120-416-429
BANGBEE	053-569-6340
ホンダドリーム浜松	053-412-6330
本の王国 ザザシティ浜松店	053-528-7014
MUMBLES	053-420-0728
ヤマハミュージックリテイリング 浜松店	053-454-4111
Live House浜松窓棹	053-451-3035
ROBANOMIMI	053-471-0022
YSP浜松	053-465-4545

浜松市東区

SWEN浜松店	053-411-5133
art tool / アートツール	053-422-7765
アニー コーヒー	053-581-9777
アビロード	053-467-0533
オートブラザドリーム	053-411-0819
オグショー	053-421-0122
音楽天国 浜松市野店	053-462-1059
スズキワールド浜松	053-464-8198
Stockガレージ	
Tickle	053-467-0160
トライアンフ浜松	053-422-6711
ナイストゥハブ	053-568-2229
南海部品浜松店	053-463-0111
ハーレーダビッドソン浜松	053-466-3210
Huge Motorcycles	053-411-8334
HYOD PLUS浜松	053-465-8282

浜松市東区

フロントロー	
PePe Motorcycles	053-581-7685
定食と喫茶 ボルドー	053-548-5035
望月自動車商会	053-463-7775
遊楽民	053-571-0703
ライトハウス市野	

浜松市西区

KAReN HaMaNaKo かんざんじ荘	053-569-6433
カワサキ ブラザ浜松	053-415-1177
KUSHITANI CAFE 籠山寺	053-523-9169
コーヒー・ブラックバード	053-486-0365
DATZ浜松	053-486-1200
PARKWOOD 61 BURGERS	053-488-4016
福ちゃん 坪井店	053-449-5555
福ちゃん 舞阪店	053-596-3019
ライダーズカフェはまなこ	053-596-3770

浜松市南区

アンティーク カミヤ倉庫	090-4797-4754
いろどり屋	053-482-9809
A-Café	090-9120-7400
カマラド・ガラージュ	053-426-2830
ガレージトッポリーノ	053-444-1230
KUSHITANI浜松本店	053-443-1819
Green Cog	053-441-4250
GS BURGER	090-8544-5356
昭和シェル石油浜松法枝町SS(牧野石油)	053-441-1953
Gil HAIR&SHAVING	053-548-6454
デリシャスキッチン	090-6023-9800
ドゥッカティ浜松	053-411-8880
TRANSIT COFFEE ROASTERS	080-9496-3336
どんぐり食堂	053-444-1233
MAGAZINE	053-442-1551
MotoService EDGE	053-424-8586
モトレスキューフダ	053-443-7846
BuffaloDonuts	

浜松市北区

オリエンタル雑貨+カフェ Ora	053-543-1670
蔵茶房なつめ	053-524-2525
グラニーズ	053-525-2202
サンマリノ	053-523-1185
太鼓屋JALI	053-523-2986

浜松市北区

T-flow	053-526-0806
長坂養蜂場	0120-40-1183
HORSESHOE-BEND	053-525-9985
本の王国 ラフレ書店	053-488-9619
Riders Cafe CAROLWAY	053-548-5290
WATTS	053-526-2261

浜松市浜北区

YSP浜北大橋	053-586-6860
---------	--------------

浜松市天竜区

Spiral	053-925-6001
トンネルカフェ	090-2264-0173
本田宗一郎ものづくり伝承館	053-477-4664
マイルストーン	053-923-1250

磐田市

クロスオーディオ	0538-32-1023
ダイナオガレージ	0538-55-6655
和食処 なかや	0539-62-2061
KNOTT'S BERRY FARM	0538-35-7003
美容室 カモミール	0539-62-6077
兵藤楽器磐田店	0538-37-0354
モトガレージ ベッカク	0538-38-9094
ライダーハウスKEN	0538-66-7645
カフェレットローズ	0538-74-1454

袋井市

イノマタ自動車整備株式会社	0538-41-1117
Café & Bakery げんらく	0538-23-0141
koti by Luomu	0538-48-5522
JUNK MASTER	0538-84-7996
SWEN袋井店	0538-41-2155
兵藤楽器袋井ミュージックセンター	0538-42-2037
めがね工房FUJITA	0538-23-8912
RIDER'S	0538-43-6005
YSP袋井	0538-43-4646

遠州森町

アクティ森	0538-85-0115
ゲストハウス森と町	090-6160-3850

掛川市

大石農場ハム工房	0537-48-5618
Takegawa U.S.A. Village	0537-64-6002

掛川市

café PIT	090-2344-6611
しばちゃんランチマーケット	090-2342-2725
ならここキャンプ場	0537-25-2055
本と、珈琲と、ときどきバイク	080-6364-1872
MAX'S DINER	0534-64-6003
Rise Burger	0537-29-6613
LEFTY BOND	0537-26-9068

菊川市

アイアンクラフト	0537-26-9900
リパティアーリゾート大東温泉	0537-72-1126

御前崎市

Cookhouse樽	0537-86-7150
コピポット(KOPIPOT)	0548-63-6620
パシフィックカフェ御前崎	0548-63-1100
風のマルシェ御前崎	0537-85-1177

湖西市

アオゾラカフェベース	053-579-3985
J.Diner KAMACHI	053-523-7393
杉浦タイヤ商会	053-594-1728
はまなこ みんなのカフェ	053-578-3888
麺's Diner KAMACHI	053-401-3004
BONZO COFFE	053-528-7686
寄道カフェ ロンボワン	053-594-0650

愛知県豊橋市

カワサキブラザ豊橋	0532-26-2277
バイクサポートFTW	0532-88-6011
バイクショップZAPPER	0532-32-7576
88食堂	0532-35-7496
福ちゃん 大岩店	0532-43-0787
福ちゃん 二川本店	0532-41-7019
FULL HOUSE	0532-35-6684

東三河エリア

遊べる花屋	090-4193-6088
SKCLししろカートコース	0536-29-4458
だみねテラス	0536-64-5516
保木平珈琲 Murmure	0536-30-1604
道の駅したら	0536-63-0120
道の駅鳳来三河三石	0536-34-0139

関東エリア

ライコランド柏店	04-7193-4182
ライコランド埼玉店	048-723-8211

二輪免許取得なら

ハマイン

「クルマがあるならバイクいらさないよね」
自分もはじめはそう思っていた。



乗った人から、自由を手に入れる。

HAMANAKO DRIVING SCHOOL
浜名湖自動車学校
 静岡県 湖西市 新居町 中之郷 2350

電話も行くよ ハマナコ
053-594-8075
 AM9:00~PM8:00 年中無休 [担当/小倉・鈴木]

ホームページからも
 資料請求受付中!
www.hamanako-driving.jp
 浜名湖自動車学校 検索



マスター

昭和の高度成長期から浜松市で「喫茶ゆるはま」を営んでいる名物マスター。遠州地域の喫茶文化に造詣が深い。寡黙だが人の話を聞くのが上手。

常連客ドンさん

「喫茶ゆるはま」の常連客。喫茶店が大好きで、遠州地域の喫茶店に足しげく通い、マスターに話を聞いてもらいにくる変わり者。

外伝 喫茶ゆるはま
喫茶ゆるはま
 vol.8
 文：ドン・サハラ
 絵：わたたく

浜松市内の一角にある、知る人ぞ知る隠れ喫茶「喫茶ゆるはま」には、昭和の時代から遠州の喫茶文化を見つけてきた名物マスターと地元を愛する常連客ドンさんが、遠州の喫茶文化について毎日雑談しています。

紡いできたのは、飲食店温故知新

バタン！ガランゴロンガラン！
 ドンさん（以下ド）：ハア：ハア：マ、マスター、とりあえずお冷一杯ちょうだい！
 マスター（以下マ）：いらっしゃい、ドンさんどうしたの慌てて？はい、お冷。
 ド：（グビグビグビ）はう生き返った！ねえ、マスター知ってた？今日、ランチを食べに卸商団地のほんまちビルに入ってる「ポルドー」に行ったらお店が無くなってたんだよ！シヨックでマスターに知らせなきゃ慌てて来たんだよ！やっぱコロナの影響かな？
 マ：「ポルドー」さんね。知ってるよ。たしかにコロナ禍で厳しかったみたいだけど、今は息子さん事業継承する形を取って、リニューアル移転して今年の1月から東区で営業しているよ。
 ド：へ？移転？なくんだ、そうなのか。閉店しちゃったかと思っで早とちりしちゃったよ。
 マ：ドンさん相変わらずだね。
 ド：だって、昔は良く仕事でランチを食べに行ってたからさう久しぶりに行ったら無くなってたらそりゃシヨックだよ。

マ：創業が1974年らしいから年間ほんまちビルで長いこと営業されてたんだね。
 ド：当時のお客はほんまちビルのビジネスホテルのお客が多かった印象があるな。
 マ：そうだね。卸商団地の問屋さんに全国から仕事に来て泊まってた人も多かったし、スポーツ選手が合宿したり、外国人観光客が泊まったりして、どの時代も賑わっていたからね。だから、ほんまちビルには最大11店舗も飲食店があつた時もあつたんだよ。
 ド：11店舗は凄いな。そういえば思い出した！確か雀荘もあつた気がする。
 マ：その雀荘は「ポルドー」さんのご両親がやってたみたいだね。雀荘のお客さんにも食事を出したり、地域の集まりに仕出しを頼まれたり、とにかく忙しかったみたいだね。そもそも、奥さんのご両親が潮見坂の方でドライブパー相手に食堂をやられてて、代替わりでほんまちビルに移転して旦那さんと「ポルドー」をやり始めたみたいで、最初はワインとステーキのお店から始めたそうだよ。
 ド：だから店名が「ポルドー」なんだな。
 マ：そうそう。だけど、お客さんの要望を聞いていくうちにどんどんメニューが増えていったって聞いたよ。



定食と喫茶 ポルドー
 浜松市東区恒武町 161-1 K-1 ビル 1階
 TEL/053-548-5035
 営業時間/定食の時間 11:00~14:00
 喫茶の時間 14:00~17:00
 定休日/日・月の喫茶の時間

ド：凄いな。沢山メニューがあつて、今日は何食べようか迷って迷ってた記憶があるな。結局ハンバーグ定食にしちゃうんだけどね。
 マ：今は移転してメニューも新しくなったけど、ドンさんの好きなハンバーグは創業当時から変わらさず出してるみたいだね。
 ド：良かったらあのハンバーグ、普通のデミグラスのハンバーグなんだけど、どこか懐かしくて家庭的で安心できる味なんだよな。
 マ：この前新店舗に行ってきたけど、創業からの味はそのまま、新しいメニューやスイーツも充実していたよ。店内も創業時からある食器類や看板があつて、新しくなったけど昔懐かしい雰囲気で落ち着いたお店だったよ。
 ド：そうなんだな。それを聞いたらハンバーグ食べに行つてこないとな。ついでに新しいメニューのスイーツも堪能してようかな。こうしちゃうと無理、早速今から「ポルドー」行ってくるよ！マスターお勘定！
 マ：ドンさん、今日お冷しか頼んでないよ！



走り出そう。今日から、そして明日へ。

KEEP CHALLENGING THE NEXT 50

2022年、株式会社デイトナは創業50周年を迎えました。
1972年、阿部久夫が大阪で創立した阿部商事。二輪パーツの輸出業から始まった小さな会社は、「日本にバイク文化を創造する」ことを目標に掲げ、その時代に合ったカスタムパーツを世に送り出し、ライダーの幸せなバイクライフを支えてきました。
これまでデイトナを支えてくれたすべての方に、そしてバイクを愛するすべての人に、感謝の気持ちをこめて。
さあ、走り出そう。今日から次の50年に向けて。これからも私たちデイトナは、バイクを通じて、人生をより楽しく、より豊かにサポートしていきます。

DAYTONA[®]
daytona.co.jp

EnshuSiast

The EnshuSiast Magazine/Vol.6 2022年10月15日発行
発行 | 有限会社キーウエストクリエイティブ 〒430-0928 静岡県浜松市中区板屋町 101-22小川ビル 3F-5 エンシュージラスト編集部
本誌に記載されている記事、写真等の無断掲載、複写、転載を禁じます。
Printed in Enshu